

# インターナショナルオフィス年報

第4号(2012年度)

## 【インターナショナルオフィス全体に関わる報告】

|   |    |
|---|----|
| 香川大学国際化の基本方針と重点戦略課題                         | 1  |
| 学術交流協定一覧                                    | 2  |
| 平成24年度国際交流資金事業実施状況                          | 4  |
| 平成24年度インターナショナルオフィス年間行事                     | 5  |
| 2012年度学長等表敬訪問                               | 6  |
| インターナショナルウィーク                               | 8  |
| FD・SD ワークショップ                               | 10 |
| 平成24年度学長主催外国人留学生交歓会                         | 11 |
| 帰国留学生ネットワークタイ支部設立総会                         | 12 |
| 「留学生400人の受け入れ・日本人学生100人の留学派遣」への<br>提案シンポジウム | 13 |

## 【国際研究支援センターに関わる報告】

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 第4回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウム     | 14 |
| 国際研究支援センター研究会シリーズ(第1～3回)の開催 | 15 |
| 学術交流協定締結校との交流状況             | 16 |
| 外国人研究者等の受け入れ状況              | 17 |
| 平成24年度国際学会・シンポジウム開催状況       | 20 |

## 【留学生センターに関わる報告】

|  |    |
|--|----|
| 日本語教育カリキュラム等の報告                          | 21 |
| 相談(交流推進)事業の報告                            | 26 |
| 海外語学研修プログラムの報告                           | 28 |
| 全学共通科目「海外体験型異文化コミュニケーション」<br>授業(タイ研修)の報告 | 31 |
| 第17回・第18回日本語語学研修プログラム報告                  | 32 |
| Short Stay プログラムにおける日本語授業の報告             | 37 |
| 留学生対象各種進学説明会                             | 38 |
| 課外教育行事                                   | 40 |
| 地域住民との交流および連携                            | 41 |
| 就職支援プログラム                                | 43 |

## 【資料】

|                   |    |
|-------------------|----|
| インターナショナルオフィス規則   | 46 |
| インターナショナルオフィス会議規程 | 49 |
| 国際研究支援センター規程      | 51 |
| 留学生センター規程         | 53 |
| 教職員一覧             | 55 |

# 香川大学インターナショナルオフィス年報

第4号 (2012年度)

## 目 次

### 【インターナショナルオフィス全体に関わる報告】

|   |    |
|---|----|
| 香川大学国際化の基本方針と重点戦略課題                         | 1  |
| 学術交流協定一覧                                    | 2  |
| 平成24年度国際交流資金事業実施状況                          | 4  |
| 平成24年度インターナショナルオフィス年間行事                     | 5  |
| 2012年度学長等表敬訪問                               | 6  |
| インターナショナルウィーク                               | 8  |
| FD・SD ワークショップ                               | 10 |
| 平成24年度学長主催外国人留学生交歓会                         | 11 |
| 帰国留学生ネットワークタイ支部設立総会                         | 12 |
| 「留学生400人の受け入れ・日本人学生100人の留学派遣」への<br>提案シンポジウム | 13 |

### 【国際研究支援センターに関わる報告】

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 第4回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウム     | 14 |
| 国際研究支援センター研究会シリーズ（第1～3回）の開催 | 15 |
| 学術交流協定締結校との交流状況             | 16 |
| 外国人研究者等の受け入れ状況              | 17 |
| 平成24年度国際学会・シンポジウム開催状況       | 20 |

### 【留学生センターに関わる報告】

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 日本語教育カリキュラム等の報告                      | 21 |
| 相談（交流推進）事業の報告                        | 26 |
| 海外語学研修プログラムの報告                       | 28 |
| 全学共通科目「海外体験型異文化コミュニケーション」授業（タイ研修）の報告 | 31 |
| 第17回・第18回日本語語学研修プログラム報告              | 32 |
| Short Stay プログラムにおける日本語授業の報告         | 37 |
| 留学生対象各種進学説明会                         | 38 |
| 課外教育行事                               | 40 |
| 地域住民との交流および連携                        | 41 |
| 就職支援プログラム                            | 43 |

### 【資 料】

|                   |    |
|-------------------|----|
| インターナショナルオフィス規則   | 46 |
| インターナショナルオフィス会議規程 | 49 |
| 国際研究支援センター規程      | 51 |
| 留学生センター規程         | 53 |
| 教職員一覧             | 55 |

# 香川大学 国際化の基本方針と重点戦略課題

～地域との連携を基盤に、地域に根ざした国際化を推進～

平成23年1月31日役員会審議承認

## 基本方針

### ○地域に根ざした国際化

- 社会・経済のグローバル化や地球規模の課題に対応し、アジア・太平洋諸国等をはじめ、広く国際社会に貢献できる分野を重点に、海外の大学・研究機関等との学術・研究交流を促進する。
- 大学の持つ国際化に関する知識・経験やネットワークを地域と共有し、地域の行政、企業、住民等の国際化へのニーズに応える。
- 人と人とのつながりを基本に、地域の様々な国際交流活動との連携を深め、地域の国際化に貢献する。

### ○国際的通用性を備えた人材の育成

- 世界で活躍できる国際性豊かなグローバル人材を育成するとともに、アジア・太平洋諸国等から優れた留学生・研究者を受け入れ、相互の人材育成・交流を促す、双方向のグローバル教育を実践する。
- 世界を舞台とする社会貢献やキャリアデザインにつながるグローバルな学生交流の機会を提供する「世界の若者に開かれた大学」を目指す。
- 海外留学や国際ボランティアなど、国際的な視野を拡げ、経験を豊かにする学生の活動を積極的に支援する。

### ○国際化のための環境整備

- 海外の大学等との学生・研究者の相互派遣の拡大に向け、海外交流拠点のネットワーク整備を進めるとともに、教職員や学生による国際的な研究・交流活動を積極的に支援する。
- 国際的な学術交流の促進に向け、研究環境のより一層の充実・強化を図るとともに、留学生の生活面を含めた教育環境の整備を地域の支援・協力を得ながら進める。
- 多様な言語やライフスタイルを持つ海外からの留学生・研究者と本学学生・教職員との自由闊達な交流を促す「キャンパスの国際化」を推進する。

## 重点戦略課題

- 海外の大学・研究機関等との間で重点化すべき学術・研究交流分野の抽出並びに情報発信
  - ・各学部における研究成果や研究テーマの整理・データベース化、国際的な学術交流ニーズ、国際社会への貢献可能性などを踏まえ、重点分野を抽出し、ターゲットとすべき大学・研究者等に向けて情報発信
- 地域を交えた国際交流活動などによる地域の国際化への貢献
  - ・地域の自治体や企業等の交流ニーズを踏まえ、協定大学をはじめ、相互交流を促進する相手国・大学等を重点化するとともに、地域を交えた国際交流活動などを通じ、地域の国際化に貢献
- グローバル人材の育成に向けたプログラム化
  - ①グローバル人材に求められる能力要素を踏まえて教育プログラムを見直し、各学部・大学院カリキュラムに反映  
(例：英語による教養・専門科目、ディベートなどの必修化、各年次・卒業までに到達する語学力の目標水準を能力に応じて設定し、着実に達成)
  - ②協定大学とのネットワークを活かした多言語プログラムや多様な留学コースを設置し、単位化するなどにより、学生の国際的視野を早期に拡大
  - ③アジア・太平洋諸国等から優秀な留学生や研究者を受け入れ、本学の学生との一体的な教育や、研究者間相互の学術交流を促す特色あるコースを設置し、大学のブランド化を促進
- 海外交流拠点のネットワークを効果的に整備するため、協定大学を重点対象として、交流内容や諸条件を打診・調整
- 留学生・外国人研究者のニーズや視点に立った支援の仕組みを整備するとともに、「キャンパスの国際化」を実現
  - ①留学生・外国人研究者のキャリア形成と地域社会の国際化ニーズをマッチングする仕組みを、地域の行政や企業等の支援・協力を得ながら構築
  - ②多言語による情報提供のシステム化や、美しく安全で快適なキャンパスを目指した点検・整備



# 学術交流協定一覧

(2013年3月31日現在)

## ●大学間協定〔16カ国・地域 49機関〕

| 機 関 名                          | 国・地域名        | 大学間協定締結年月日                    | 実施細則等締結部局   |
|--------------------------------|--------------|-------------------------------|---|
| カセサート大学                        | タイ王国         | 1988年8月25日<br>再締結(1999年1月20日) | 農学部、大学院農学研究科  |
| チェンマイ大学                        | タイ王国         | 1990年4月24日                    | 農学部、大学院農学研究科<br>工学部、大学院工学研究科<br>教育学部<br>医学部、大学院医学系研究科<br>医学部看護学科、大学院医学系研究科看護学専攻 |
| レイビル大学                         | アメリカ合衆国      | 1997年9月2日                     | 法学部、大学院法学研究科  |
| サボア大学                          | フランス共和国      | 2000年3月24日                    | 工学部、大学院工学研究科  |
| 南京農業大学                         | 中華人民共和国      | 2001年7月4日                     | 農学部、大学院農学研究科  |
| ミュンヘン工科大学                      | ドイツ連邦共和国     | 2002年2月13日                    | 工学部、大学院工学研究科  |
| メチヨー大学                         | タイ王国         | 2002年3月7日                     | 農学部、大学院農学研究科  |
| 国立政治大学                         | 台湾           | 2002年3月19日                    | 法学部、大学院法学研究科  |
| ラインマイン大学                       | ドイツ連邦共和国     | 2002年9月23日                    | 経済学部、大学院経済学研究科<br>農学部   |
| コロラド州立大学                       | アメリカ合衆国      | 2002年10月8日                    | -   |
| 韓国海洋大学                         | 大韓民国         | 2002年12月18日                   | 工学部、大学院工学研究科  |
| 上海大学                           | 中華人民共和国      | 2003年9月1日                     | 工学部、大学院工学研究科<br>経済学部、大学院経済学研究科  |
| ハルビン工程大学                       | 中華人民共和国      | 2005年2月23日                    | 工学部、大学院工学研究科<br>大学院地域マネジメント研究科  |
| 大邱大学                           | 大韓民国         | 2005年5月17日                    | 経済学部  |
| カデイス大学                         | スペイン         | 2006年1月31日                    | 農学部、大学院農学研究科  |
| 南ソウル大学                         | 大韓民国         | 2006年3月7日                     | 工学部、大学院工学研究科<br>経済学部  |
| 中国海洋大学                         | 中華人民共和国      | 2006年12月19日                   | 法学部、大学院法学研究科  |
| アアルト大学化学技術学部                   | フィンランド共和国    | 2007年3月13日                    | 農学部、大学院農学研究科  |
| 真理大学                           | 台湾           | 2007年6月11日                    | 経済学部  |
| 西北大学                           | 中華人民共和国      | 2007年10月17日                   | 経済学部  |
| 南ボヘミア大学                        | チェコ共和国       | 2008年11月12日                   | -   |
| ハンバット大学                        | 大韓民国         | 2008年11月14日                   | 工学部、大学院工学研究科  |
| 北京工業大学                         | 中華人民共和国      | 2008年12月11日                   | 工学部、大学院工学研究科  |
| 電子科技大学                         | 中華人民共和国      | 2009年6月1日                     | 工学部、大学院工学研究科  |
| 天津農学院                          | 中華人民共和国      | 2009年6月4日                     | 農学部、大学院農学研究科  |
| フランシュ・コンテ大学                    | フランス共和国      | 2009年7月24日                    | 工学部、大学院工学研究科  |
| ブルネイ・ダルサラーム大学                  | ブルネイ・ダルサラーム国 | 2009年11月8日                    | -   |
| チュラロンコン大学                      | タイ王国         | 2010年2月1日                     | -   |
| シェラングラ農科大学                     | バングラデシュ人民共和国 | 2010年5月10日                    | 農学部、大学院農学研究科  |
| コンピエーネ技術大学                     | フランス共和国      | 2010年7月8日                     | 工学部、大学院工学研究科  |
| トリブバン大学                        | ネパール連邦民主共和国  | 2010年11月2日                    | -   |
| ムルシア大学                         | スペイン         | 2010年12月9日                    | -   |
| バツタンバン大学                       | カンボジア王国      | 2010年12月9日                    | 農学部、大学院農学研究科  |
| 王立農業大学                         | カンボジア王国      | 2010年12月13日                   | 農学部、大学院農学研究科  |
| カリフォルニア大学デービス校<br>カリフォルニア大学理事会 | アメリカ合衆国      | 2011年2月1日                     | -   |
| 誠信女子大学                         | 大韓民国         | 2011年2月21日                    | -   |
| セントピーターズバーグ大学                  | アメリカ合衆国      | 2011年2月28日                    | -   |
| リモージュ大学                        | フランス共和国      | 2011年3月14日                    | 工学部、大学院工学研究科  |
| 北京外国語大学                        | 中華人民共和国      | 2011年3月29日                    | -   |
| 武漢理工大學                         | 中華人民共和国      | 2011年5月30日                    | 工学部、大学院工学研究科  |
| 河南農業大学                         | 中華人民共和国      | 2011年8月15日                    | 農学部、大学院農学研究科  |
| 長春理工大学                         | 中華人民共和国      | 2012年1月16日                    | 工学部、大学院工学研究科  |
| 浙江工商大学                         | 中華人民共和国      | 2012年5月7日                     | 農学部、大学院農学研究科  |
| 天津理工大学                         | 中華人民共和国      | 2012年10月25日                   | 工学部、大学院工学研究科  |
| カリフォルニア州立大学フラトン校               | アメリカ合衆国      | 2012年11月9日                    | -   |
| パリ電子電気工学技術高等学院                 | フランス共和国      | 2012年11月19日                   | 工学部、大学院工学研究科  |
| ガジャマダ大学                        | インドネシア共和国    | 2013年1月31日                    | -   |
| ディポネゴロ大学                       | インドネシア共和国    | 2013年2月4日                     | 農学部、大学院農学研究科  |
| 州立ロンドリーナ大学                     | ブラジル連邦共和国    | 2013年3月11日                    | 農学部、大学院農学研究科  |

●部局間協定〔13カ国・地域 24機関〕

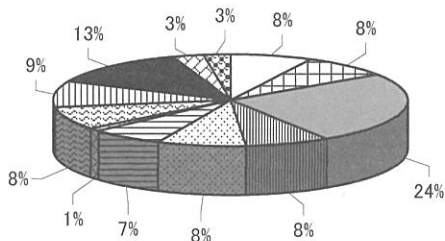
| 部 局 名          | 機 関 名                | 国 ・ 地 域 名     | 部局間協定締結年月日    |
|----------------|----------------------|---------------|---------------|
| 教 育 学 部        | 清 州 大 学 人 文 学 部      | 大 韓 民 国       | 2001年 7 月 9 日 |
| 教 育 学 部        | クライストチャーチ・ポリテクニク工科大学 | ニュージーランド      | 2002年 1 月23日  |
| 教育学部、大学院教育学研究科 | 江西師範大学国際教育学院         | 中華人民共和国       | 2005年 2 月25日  |
| 法学部、大学院法学研究科   | 上海社会科学院法学研究所         | 中華人民共和国       | 1996年 9 月 2 日 |
| 法学部、大学院法学研究科   | 華 東 政 治 法 律 大 学      | 中華人民共和国       | 1996年 9 月 5 日 |
| 経済学部、大学院経済学研究科 | ボン＝ライン＝ズィーク大学経済学部    | ドイツ連邦共和国      | 2000年12月15日   |
| 医 学 部          | カ ル ガ リ 大 学 医 学 部    | カ ナ ダ         | 1989年 7 月31日  |
| 医 学 部          | 中 国 医 科 大 学          | 中華人民共和国       | 1997年 8 月28日  |
| 医 学 部          | 河 北 医 科 大 学          | 中華人民共和国       | 2001年11月27日   |
| 医 学 部          | ブルネイ・ダルサラーム国保健省      | ブルネイ・ダルサラーム国  | 2009年12月 5 日  |
| 工学部、大学院工学研究科   | ブリティッシュコロンビア大学応用科学部  | カ ナ ダ         | 2001年 7 月31日  |
| 工学部、大学院工学研究科   | ボン＝ライン＝ズィーク大学        | ドイツ連邦共和国      | 2002年 2 月12日  |
| 工学部、大学院工学研究科   | 国立高等精密機械大学院大学        | フ ラ ン ス 共 和 国 | 2009年 1 月28日  |
| 工学部、大学院工学研究科   | ト レ ド 大 学            | ア メ リ カ 合 衆 国 | 2009年 3 月30日  |
| 工学部、大学院工学研究科   | ロバニエミ応用科学大学          | フィンランド共和国     | 2009年 6 月 1 日 |
| 工学部、大学院工学研究科   | 漢陽大学工学部第四群           | 大 韓 民 国       | 2010年 4 月14日  |
| 工学部、大学院工学研究科   | ハルムスタッド大学情報科学部       | スウェーデン王国      | 2011年 4 月18日  |
| 工学部、大学院工学研究科   | 北京師範大学化学学院           | 中華人民共和国       | 2012年 3 月31日  |
| 工学部、大学院工学研究科   | 北京理工大学生命学院           | 中華人民共和国       | 2012年10月24日   |
| 農学部、大学院農学研究科   | ダ ッ カ 大 学 生 物 科 学 部  | バングラデシュ人民共和国  | 1998年12月15日   |
| 農学部、大学院農学研究科   | ミシガン州立大学農学・自然資源学部    | ア メ リ カ 合 衆 国 | 1999年 3 月22日  |
| 農学部、大学院農学研究科   | ボゴール農業大学農学部、大学院研究科   | インドネシア共和国     | 2000年 6 月13日  |
| 農学部、大学院農学研究科   | 西オーストラリア大学自然科学・農学部   | オーストラリア連邦     | 2002年 3 月28日  |
| 農学部、大学院農学研究科   | ブルゴーニュ大学アグロスツップ校     | フ ラ ン ス 共 和 国 | 2010年 6 月 1 日 |

●連携協力協定（3件）

| 協 定  | 連 携 協 力 機 関  | 締 結 年 月 日    |
|--|--|--------------|
| 国際メカトロニクス研究<br>教育機構に関する一般協定  | サポア大学、国立高等精密機械大学院大学、フランシュ・コンテ大学、<br>電気通信大学、東京電機大学、首都大学東京、産業技術大学院大学、<br>高等機械大学院大学、リモージュ大学、コンピエーネ技術大学、<br>三重大学 | 2009年 1 月30日 |
| 地球ディベロプメントサイエンス<br>国際コンソーシアムの設立に<br>関する一般協定                                | グラム・バングラ   | 2010年 2 月16日 |
| 熱帯農業に関する SUIJI(Six<br>University Initiative Japan In-<br>donesia)コンソーシアム協定 | ガジャマダ大学、ボゴール農業大学、<br>ハサヌディン大学、愛媛大学、高知大学  | 2011年 3 月16日 |

## 平成 24 年度香川大学国際交流資金実施状況

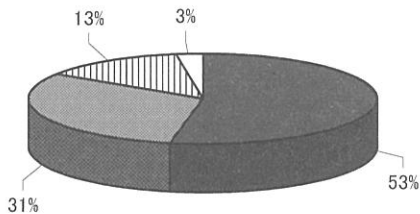
### 各事業実施割合



- 外国人研究者等招へい援助事業
- 田 外国人留学生奨学援助事業(A)
- 外国人留学生奨学援助事業(B)
- 教職員海外派遣援助事業
- 外国へ留学する学生援助事業
- 国際共同研究
- 国際会議開催援助事業
- 国際交流に必要な渉外援助事業
- 本学学生の外国における学会発表援助事業
- 交流協定校への短期訪問援助事業
- 海外でボランティア活動に従事する学生に対する支援
- その他

| 事業名                      | 実施額(千円) | 事業全体に占める割合 |
|--------------------------|---------|------------|
| 外国人研究者等招へい援助事業           | 572     | 8%         |
| 外国人留学生奨学援助事業(A)          | 600     | 8%         |
| 外国人留学生奨学援助事業(B)          | 1,920   | 25%        |
| 教職員海外派遣援助事業              | 600     | 8%         |
| 外国へ留学する学生援助事業            | 600     | 8%         |
| 国際共同研究                   | 500     | 7%         |
| 国際会議開催援助事業               | 90      | 1%         |
| 国際交流に必要な渉外援助事業           | 600     | 8%         |
| 本学学生の外国における学会発表援助事業      | 700     | 9%         |
| 交流協定校への短期訪問援助事業          | 1,000   | 13%        |
| 海外でボランティア活動に従事する学生に対する支援 | 200     | 3%         |
| その他                      | 193     | 3%         |
| 計                        | 7,575   | 100%       |

### 目的別実施割合



- 学生・留学生に対する援助
- 研究者に対する援助
- 学生・研究者に対する援助
- その他

| 事業           | 実施額(千円) | 事業全体に占める割合 |
|--------------|---------|------------|
| 学生・留学生に対する援助 | 4,020   | 53%        |
| 研究者に対する援助    | 2,362   | 31%        |
| 学生・研究者に対する援助 | 1,000   | 13%        |
| その他          | 193     | 3%         |
| 計            | 7,575   | 100%       |

## 平成 24 年度インターナショナルオフィス年間行事

| 月 日              | 行 事  |
|------------------|--|
| 4月6日(金)          | 春期日本語研修コース開講式  |
| 4月7日(土)          | 春期新入留学生ガイダンス・歓迎会(情報交換会)  |
| 5月7日(月)          | 本学と浙江工商大学との学術交流協定書等締結  |
| 5月9日(水)          | 講演会「日本ができる世界平和への貢献」  |
| 5月29日(火)         | 香川県留学生等国際交流連絡協議会運営委員会  |
| 5月30日(水)         | 海外留学ガイダンス  |
| 6月8日(金)          | 平成24年度国際研究支援センター研究会シリーズ第1回   |
| 6月11日(月)         | 特別講演会「ユーロの危機」  |
| 6月13日(水)・27日(水)  | 留学生のための就職支援サービス登録会   |
| 6月22日(金)         | 香川県留学生等国際交流連絡協議会総会   |
| 6月25日(月)～7月6日(金) | 第17回日本語語学研修プログラム(2W)   |
| 7月8日(日)          | 日帰り旅行(小豆島)(KUFSA と ICES※主催)  |
| 7月17日(火)         | 留学生と青年経営者の集い   |
| 7月23日(月)         | 平成24年度国際研究支援センター研究会シリーズ第2回   |
| 7月30日(月)         | 外国人留学生等の入国・在留に関する実務懇談会(香川県留学生等国際交流連絡協議会主催)<br>進学相談会(穴吹ビジネスカレッジ日本語学科) |
| 8月6日(月)          | 企業見学会(香川県留学生等国際交流連絡協議会主催)  |
| 9月19日(水)～21日(金)  | 第4回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウム  |
| 9月26日(水)～27日(木)  | 平成24年度第1回外国人留学生課外教育行事  |
| 10月1日(月)         | 本学とコロラド州立大学国際交流協定覚書再締結   |
| 10月6日(土)         | 秋期新入留学生ガイダンス、チューター説明会・情報交換会  |
| 10月24日(水)        | 本学工学部及び大学院工学研究科と北京理工大学生命学院との学術交流協定書等締結                               |
| 10月25日(木)        | 本学と天津理工大学との学術交流協定書等締結  |
| 10月26日(金)        | 「東南アジア青年の船」との交流会   |
| 11月2日(金)         | 留学生就職活動準備セミナー  |
| 11月8日(木)         | 本学工学部及び大学院工学研究科とトレド大学との学術交流協定書等再締結                                   |
| 11月9日(金)         | 本学とカリフォルニア州立大学フラトン校との学術交流協定書締結                                       |
| 11月10日(土)        | 香川大学帰国留学生ネットワークタイ支部設立総会  |
| 11月19日(月)        | 本学とパリ電子電気工学技術高等学院との学術交流協定等締結   |
| 11月24日(土)～25日(日) | 日本留学フェア(ベトナム)  |
| 11月26日(月)～30日(金) | インターナショナルウィーク  |
| 11月26日(月)        | 講演会「いま、なぜ『外国へ行ってみる』なのか」  |
| 11月28日(水)        | 海外留学フェア  |
| 11月29日(木)        | 講演会「激動の国際情勢と日本の大学生に期待すること」   |
| 11月30日(金)        | 学長主催外国人留学生交歓会  |
| 12月4日(火)         | 平成24年度国際研究支援センター研究会シリーズ第3回   |
| 12月12日(水)        | ブルネイ・ダルサラーム大学との学術交流に関する覚書(MOA)締結記念フォーラム                              |
| 12月13日(木)        | ブルネイ・ダルサラーム大学との学術交流に関する覚書(MOA)に関する実施細則締結                             |
| 12月22日(土)        | 外国人留学生就職活動準備セミナー(バスツアー)  |
| 1月12日(土)         | 留学生お正月会(KUFSA と ICES 主催)   |
| 1月15日(火)         | 東南アジア食品産業調査ミッション in ベトナム報告会  |
| 1月18日(金)         | 企業見学会(香川県留学生等国際交流連絡協議会主催)  |
| 1月21日(月)～2月1日(金) | 第18回日本語語学研修プログラム(2W)   |
| 1月30日(水)         | 留学生就職活動支援セミナー  |
| 1月31日(木)         | 本学とガジヤマダ大学との学術交流協定書締結  |
| 2月4日(月)          | 本学とディボネゴロ大学との学術交流協定書等締結  |
| 2月18日(月)         | 留学生就職活動支援セミナー  |
| 2月21日(木)         | 平成24年度FD・SD ワークショップ  |
| 2月22日(金)         | 外国人留学生及びチューター等意見交換・反省会   |
| 2月25日(月)・26日(火)  | 平成24年度第2回外国人留学生課外教育行事  |
| 2月28日(木)         | プレ・シンポジウム『香川大学における「留学生400人の受け入れ・日本人学生100人の留学派遣」への提案』                 |
| 3月11日(月)         | 本学と州立ロンドリーナ大学との学術交流協定書等締結  |
| 3月13日(水)         | シンポジウム『香川大学における「留学生400人の受け入れ・日本人学生100人の留学派遣」への提案』                    |

(注) ※KUFSA : Kagawa University Foreign Student Association 香川大学留学生会  
ICES : Kagawa University Inter-Cultural Society 香川大学異文化交流会

## 2012 年度学長等表敬訪問

- 5月23日 メチョー大学  
Prawit Puddhanon 農業生産学部長他が本学理事・インターナショナルオフィス長を表敬訪問  
2002年に本学との交流協定。農学部を中心に学生や研究者の交流を活発に行っている。
- 6月26日 日本語語学研修プログラム研修生  
留学生センター主催「第17回日本語語学研修プログラム」研修生が本学理事・インターナショナルオフィス長を表敬訪問  
台湾・真理大学の学生1名、台湾・輔仁大学の学生2名、韓国・韓国海洋大学の学生2名の計5名の学生が参加。
- 7月17日 州立ロンドリーナ大学  
ロンドリーナ大学 Elisa Yoko Hirooka 准教授が本学理事・インターナショナルオフィス長を表敬訪問
- 8月21日 ショートステイの学生  
本学農学部にショートステイする外国人学生15名が、本学理事・インターナショナルオフィス長を表敬訪問  
15名は本学の協定校に在籍している学生で、本学農学部において、「東南アジアなどの食品安全機能解析教育に関する大学間相互交流プログラム」に参加。
- 9月10日 サボア大学  
サボア大学 Laurent Foulloy 教授が本学理事・インターナショナルオフィス長を表敬訪問  
本学とサボア大学は2000年に学術交流協定を締結後、本学との交流が継続的に行われている。
- 12月6日 独立行政法人国際協力機構（JICA）  
独立行政法人国際協力機構（JICA）の黒川恒男理事他が本学学長を表敬訪問  
2006年に JICA 四国と四国地区国立大学法人5大学との連携協力の推進に関する覚書を締結し、JICA と連携した教育・国際貢献を行っている。
- 12月13日 ブルネイ・ダルサラーム大学  
ブルネイ・ダルサラーム大学 Tong Chee Kiong 教授他が本学学長を表敬訪問  
本学とブルネイ・ダルサラーム大学との学術交流に関する覚書に関する実施細則の調印式のために来日。



1月11日 ショートステイの学生

本学経済学部ショートステイする外国人学生12名が、本学学長を表敬訪問  
「交流協定校との複線型海外研修プログラム」に参加。

1月18日 バングラデシュ大使館

マスード・ビン・モメン大使とジバン・ラジャン・マジウンダ経済公使が本学学長を表敬訪問

1月23日 ボン・ライン・ズィーク大学

ジェンス・ベッカー教授他が本学理事を表敬訪問

2000年に本学経済学部及び大学院経済学研究科との学術交流協定、実施細則の締結以来、経済学部と工学部を中心に交流がある。

## インターナショナルウィークの開催

インターナショナルオフィス 正 楽 藍

インターナショナルオフィスは毎年、海外留学ガイダンスを開催し、本学学生の海外留学促進を図っている。一方、本学に限らず、大学生の海外留学が停滞しており、日本人の海外留学者数は平成16年以降約3割の減少とも報告されている。インターナショナルオフィスも何とかこの状況を好転させなければならないと、平成24年度はこれまでの海外留学ガイダンスに加えて、国際交流に関する2回の講演会とパネル展示を試みた。以下はその報告である。

### 1. インターナショナルウィークの概要報告

平成24年11月26日(月)～11月30日(金)、本学における国際交流活動を盛り上げ、インターナショナルオフィス及び各部署の取り組みを広く周知する機会を設けるためインターナショナルウィークを実施した。

26日(月)は、ドイツ・エアランゲン在住のジャーナリストである高松平蔵氏をお招きし、「いま、なぜ『外国へ行ってみる』なのか」についてご講演いただいた。高松氏ご自身の海外生活で印象に残ったエピソードを交え、外国へ行くことの意義についてお話くださった。会場には、ドイツへ関心を持つ学生を始め、海外在住ジャーナリストのお話に興味を示す学生が多く参加し、海外で活躍される高松氏ならではの臨場感のある講演に熱心に耳を傾けていた。

28日(水)は、「海外留学フェア」を開催した。「第1部 帰国学生による報告会」では、ラインマン大学(ドイツ)、コロラド州立大学(アメリカ)、チェンマイ大学(タイ)、ロバニエミ応用化学大学(フィンランド)、ブリティッシュコロンビア大学及びビクトリア大学(カナダ)、西オーストラリア大学(オーストラリア)、大邱大学(韓国)での留学・研修へ参加した学生らが、留学・研修へ参加した動機や内容、学んだことなどを報告してくれた。「第2部 海外留学プログラムの紹介」では、インターナショナルオフィス教員らによる本学の海外留学プログラムの紹介に続いて、国際教育交換協議会日本代表部の植田寿光恵氏による海外留学のための英語資格試験 TOEFL についてご説明いただいた。また、第1部と第2部の間には、帰国学生による国別ブースを設け、参加学生が興味、関心のある留学・研修先に分かれて自由に質問したり、留学・研修の様子を聴いたりする時間を持った。同じ興味、関心のある学生同士で情報を交換し合ったり、帰国した先輩からアドバイスを受けたりしながら、自分の目的にあった留学プログラムを探す姿が印象的であった。

29日(木)は、関西学院大学副学長・前在ドイツ特命全権大使である神余隆博氏をお招きし「激動の国際情勢と日本の大学生に期待すること」について講演いただいた。講演では、東アジアや欧州の情勢、日本の大学生に期待することなどについてお話くださった。

最終日の30日(金)は、学長主催による外国人留学生交歓会を開催した。通常は本学の外国人留学生と彼らのチューター、教職員を対象としたものであるが、今回は「海外留学フェア」で帰国報告をしてくれた学生らも招待し、外国人留学生と日本人学生との交流の機会とした。交歓会の報告は別途、「平成24年度学長主催外国人留学生交歓会」をご覧ください。

11月26日(月)～11月30日(金)の5日間を通して、本学中央図書館エントランスとインターナショナルオフィスのある研究交流棟4階スペースを活用してパネル展示も行った。本学の学術交流協定校や

海外語学研修プログラム、その他の留学プログラムの紹介パネルを展示し、授業の合間や昼休みなどの空き時間に自由に見てもらえるようにした。

## 2. 部局との連携によるインターナショナルウィークの開催

11月1日(木)には、農学部国際交流委員会主催「海外留学についての説明会」が本ウィークの一環として開催された。学术交流協定校の紹介と留学手続きに加えて、インターナショナルオフィス教員による本学の海外留学プログラムについての説明を行った。さらに、11月3日(土)の工学部第2回オープンキャンパスにおいて、工学部国際交流委員会による国際交流相談コーナーが設置され、工学部の国際交流活動について広く紹介された。

本学はキャンパスが4つに分散されており、本ウィークのような行事の開催にあたってはいつも、本部及びインターナショナルオフィスのある幸町キャンパス（教育学部、法学部、経済学部）以外の3キャンパス（医学部、工学部、農学部）での開催をどうするかが検討事項となる。しかし、今後も、各部局との連携により、幸町キャンパス以外の学生にも広く情報と機会を提供していく工夫を重ねていきたい。

## FD・SD ワークショップの実施

平成25年2月21日(木)、海外へ渡航する学生の指導教員及び事務担当者を対象とした「危機管理セミナー」を開催した。講師にジェイアイ傷害火災保険(株)リスクソリューション担当部長城戸氏をお招きし、板野オフィス長の開会挨拶の後、城戸氏による講演があった。初めに、「香川大学海外研修生／留学生のための海外リスクマネジメント」として、学生自身が海外で発生しやすい事件や事故をいかに防ぐべきか、また、自然災害発生時にどのような行動をとるべきか、などについて講演をいただいた。次に、「海外危機管理セミナー～大学としての対応～」として、事件発生時の対策本部の設置やご家族への対応、日本政府への支援要請などについて講演していただいた。

講演に引き続いての質疑応答では、具体的な保険の加入手続きや内容、有事が発生した際の注意事項等について、活発な意見交換がなされた。

## 平成24年度学長主催外国人留学生交歓会を開催

平成24年11月30日(金)、外国人留学生、教職員及びチューター等日本人学生や、地域や国際交流団体の方々との親睦を深めるため、学長主催による外国人留学生交歓会をホテルパールガーデンにおいて開催し、約260名が参加した。

仏生山国際交流会の方々のご厚意により和装した、留学生の経済学部研究生 Gagauzov Gleb (ガウゾフ グレブ)さん、経済学研究科1年 張 絮涵 (チョウ ジョカン) さんが司会進行を行い、長尾学長の挨拶に続き、留学生代表の教育学研究科2年 王 珊 (オウ サン) さんの挨拶、板野総務・研究担当理事による乾杯の音頭で開始された。懇談の合間には、連合農学研究科3年 Pham Thanh Van (ファン タン バン) さんによるお礼の言葉、中国からの留学生による歌とダンス、マレーシアからの留学生による民族音楽演奏、タイからの留学生による歌、ダンスなどのパフォーマンスが披露された。さらに、香川大学異文化交流会 (ICES) の司会により、板野総務・研究担当理事と留学生によるじゃんけん大会が行われ、上位者にはプレゼントも贈呈され、大いに盛り上がった。

最後に民族衣装を身にまとったロン留学生センター長による挨拶で交歓会を締めくくった。これを機に本学の留学生達が、さらなる交流の輪を広げ、日本での留学生生活を充実したものにしてもらうことを願う。

## 香川大学帰国留学生ネットワークタイ支部の設立総会

平成24年11月10日(土)、香川大学帰国留学生ネットワークタイ支部設立総会をバンコク市内のホテルで開催した。これは、帰国留学生が相互の親睦・情報交換を図るとともに、本学の国際交流の推進に寄与することを目的として行った。

総会には、帰国留学生が26名、本学からは、ロン留学生センター長、飯田国際研究支援センター長、早川農学部長、帰国留学生の元指導教員が出席した。

総会では、ロン留学生センター長の挨拶、早川農学部長の祝辞の後、役員選出が行われ、Wanchaiカセサート大学教員が会長に選出された。

引き続き行われた懇親会では、本学教職員との間でお互いの近況報告を行い旧交を温めた。今回は、ショートビジットプログラムでカセサート大学に来ている本学学生が加わり、力強い掛け声が特徴的なソーラン節のリズムに乗った躍動感と迫力ある踊りなどで場を盛り上げた。また、帰国留学生でカセサート大学の学生による優雅なタイ舞踊も披露された。

本学では、1981年以降120名以上のタイ人留学生を受入れており、帰国後はタイ有数の大学で研究者になった人も多く、彼らとの研究交流が盛んに行われている。このタイ支部設立総会をきっかけに、さらなる活発な交流活動が期待される。

## 「留学生400人の受け入れ・日本人学生100人の留学派遣」への提案シンポジウム

インターナショナルオフィス ロン リム

本学における今後の留学生受け入れと日本人学生の海外留学・研修の派遣について、2回に渡り、シンポジウムを実施した。プレシンポジウムを平成25年2月28日(木)に、本シンポジウムは平成25年3月13日(木)に行った。本学に在学している留学生の受け入れは200人不足であり、学生人口のわずか3%程の約6500人とどまる。そのため、10年後の平成35年に、受入人数を現在の倍の400名にしようという狙いで教職員に呼び掛けるためのシンポジウムだった。他方、日本人学生の海外留学や研修の派遣はさらに少ない。協定大学への1年未満の交換留学は、多くて年間6名しか記録していない。カリキュラム内で組んでいる単位付きの留学や研修を含めた海外派遣は、長短期含め平成35年に100名にしようというターゲット設定である。受け入れも派遣も「課題」が山積している中、今後、この取り組みが盛んになっていくことを期待する。

## 第4回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウム

インターナショナルオフィス 塩井実香

2012（平成24）年9月19日から21日まで、香川大学にて第4回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウムが開催された。詳細に関しては『香川大学インターナショナルオフィスジャーナル』第4号（pp.47-95）に特集が組まれているため、ここではその概要を記したい。

本シンポジウムは、本学の海外教育研究交流拠点であるチェンマイ大学と、2007年より開催地を交互に移して行っている。第4回は、本学での開催であったため、参加者は教職員と学生を合わせて192名にのぼる。

今回は、前回第3回のテーマであった Healthy Aging Society を引き継ぎつつ、さらに発展させる形で、Healthy Aging and Sustainable Society をテーマとして掲げ、さまざまな分野からこれに関した発表・ディスカッション等が行われた。また、エクスカージョンの際には、町をあげて保健・医療・福祉の連携・充実を目指している綾川町国民健康保健陶病院を見学することもでき、香川県での実情を実際に見聞きしながら、改めて今回のテーマについて考える機会ともなった。

シンポジウムのスケジュールとしては、1日目には、開会式に引き続き5つの分野の分科会 (Social Sciences and Humanities, Agriculture, Economics and Business, Medicine and Nursing, Engineering) が行われ、2日目には、午前中2つの分野の分科会 (Social Sciences and Humanities, Medicine and Nursing)、午後は地元の滝宮天満宮、綾川町役場、先述の陶病院等へのエクスカージョンが行われた。最終日となる3日目には、午前中には1分野の分科会 (Agriculture)、午後には4つの分野のパネルセッション (Social Sciences and Humanities, Medicine and Nursing, Engineering, Agriculture) と、本学・チェンマイ大学・香川県からパネラーを選出してのパネルディスカッションが行われ、充実した日程を終えることができた。



## 平成24年度国際研究支援センター研究会シリーズ（第1～3回）の開催

インターナショナルオフィス 細田 尚美

国際研究支援センターでは平成22年度から、香川大学における国際的な研究活動推進のための研究会シリーズを年に数回開催している。研究会は、国際的な研究を実施している／実施を希望している教員らの報告を聞き、参加者の間で活発な議論を展開するとともに、それぞれの研究の発展へとつなげることを目的としている。いずれの研究会も、幸町、医学部、工学部、農学部の各キャンパスを遠隔会議システムでつないで実施し、部局間の研究交流の一端も担った。

### ○第1回「日本語学習の促進 — 理系学生の日本語学習観に対するショートステイ・プログラムの効果 —」（平成24年6月8日）

農学部のピーター・ルーツ准教授、ならびにインターナショナルオフィスの高水徹講師と塩井実香講師が、現在、本学を含む国内の大学で盛んに実施されている JASSO 留学生交流支援制度「ショートステイ・プログラム（SS）」の日本語の授業の紹介や学習の効果、経費や今後の展望について発表した。

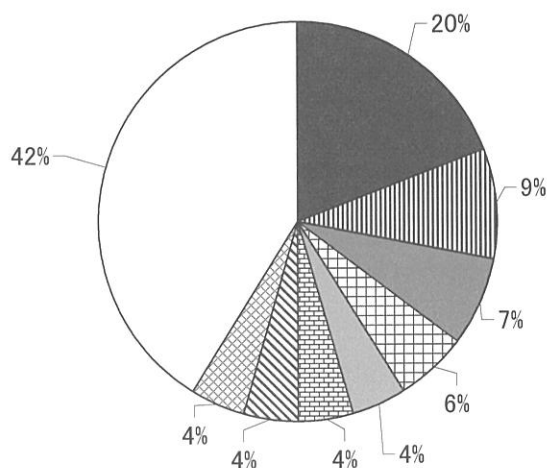
### ○第2回「四国の美味をベトナムへ — ベトナム・メコン地域における食品市場と四国の食品産業の展開可能性 —」（平成24年7月23日）

国際研究支援センターの飯田豊彦センター長が概要を紹介した後、農学部の田村啓敏教授から、農学部が中心となって産学官連携として取り組んでいるベトナムでの調査事業についての発表があった。さらに、四国の食品企業を対象に行ったアンケート結果を基に、ベトナムを始めとする東南アジア諸国への関心や課題についても指摘した。

### ○第3回「国際協力の現状と新たな動き — JICA と大学の連携強化に向けて —」（平成24年12月4日）

JICA 四国の長澤一秀支部長が JICA の国際協力事業の現状や今後の事業戦略について説明した。JICA のインターンシップ事業等を活用したグローバル人材育成への連携、学生の海外派遣や途上国支援事業を活用したプロジェクト連携の可能性など幅広い話題について具体的に解説した。

## 学術交流協定締結校との交流状況（受け入れ）

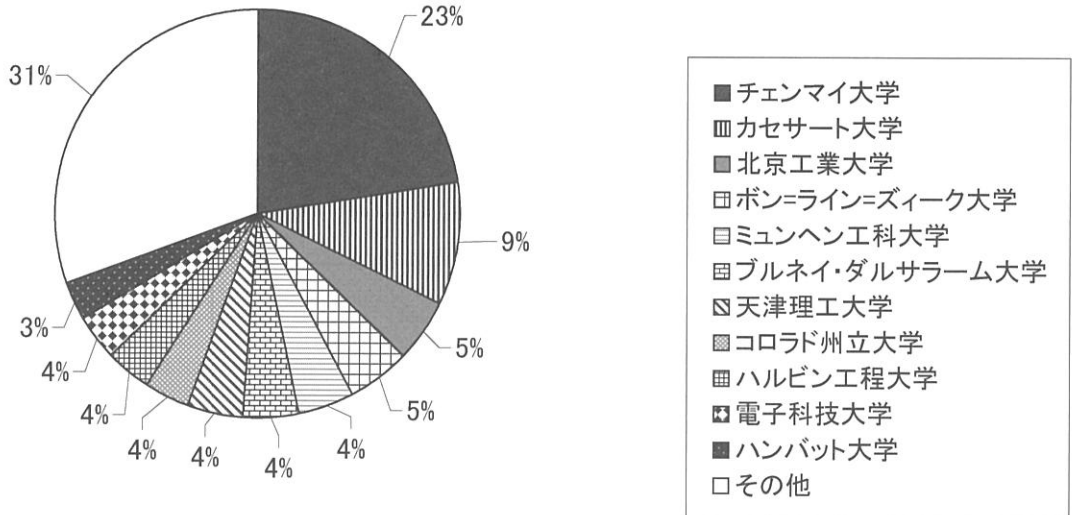


- チェンマイ大学
- ▨ ハンバット大学
- メチョー大学
- ▨ ブルネイ・ダルサラーム大学
- コロラド州立大学
- ▨ 河北医科大学
- ▨ 北京師範大学化学学院
- ▨ 北京理工大学生命学院
- その他

| 大学名           | 件数 |
|---------------|----|
| チェンマイ大学       | 13 |
| ハンバット大学       | 6  |
| メチョー大学        | 5  |
| ブルネイ・ダルサラーム大学 | 4  |
| コロラド州立大学      | 3  |
| 河北医科大学        | 3  |
| 北京師範大学化学学院    | 3  |
| 北京理工大学生命学院    | 3  |
| カセサート大学       | 2  |
| ハルビン工程大学      | 2  |
| 電子科技大学        | 2  |
| 長春理工大学        | 2  |
| 浙江工商大学        | 2  |
| ガジヤマダ大学       | 2  |

| 大学名                | 件数 |
|--------------------|----|
| ディポネゴロ大学           | 2  |
| 江西師範大学・国際教育学院      | 2  |
| ロバニエミ応用科学大学        | 2  |
| サボア大学              | 1  |
| トリブバン大学            | 1  |
| 武漢理工大学             | 1  |
| 天津理工大学             | 1  |
| カリフォルニア州立大学フラトン校   | 1  |
| パリ電子電気工学技術高等学院     | 1  |
| 州立ロンドリーナ大学         | 1  |
| ホーンライン=スウィーク大学経済学部 | 1  |
| カルガリ大学医学部          | 1  |
| ミシガン州立大学農学・自然資源学部  | 1  |

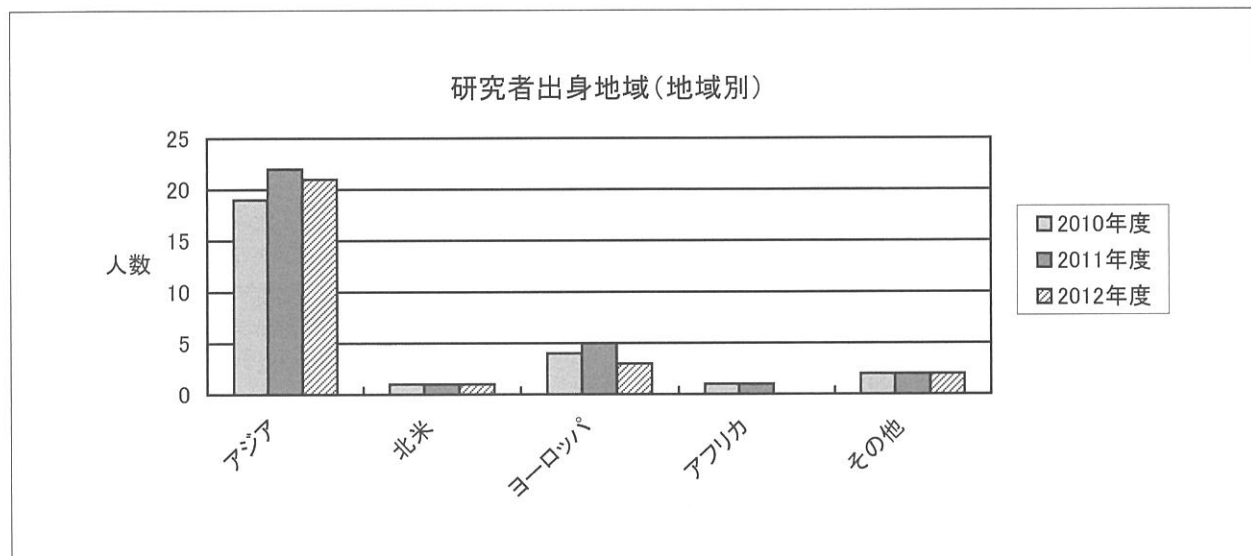
## 学術交流協定締結校との交流状況（派遣）



| 大学名           | 件数 |
|---------------|----|
| チェンマイ大学       | 31 |
| カセサート大学       | 13 |
| 北京工業大学        | 7  |
| ボン=ライン=ズィーク大学 | 7  |
| ミュンヘン工科大学     | 6  |
| ブルネイ・ダルサラーム大学 | 6  |
| 天津理工大學        | 6  |
| コロラド州立大学      | 5  |
| ハルビン工程大学      | 5  |
| 電子科技大学        | 5  |
| ハンバット大学       | 4  |
| 真理大学          | 3  |
| 天津農学院         | 3  |
| フランシュ・コンテ大学   | 3  |
| 王立農業大学        | 3  |
| 河南農業大学        | 3  |
| 北京理工大學        | 3  |

| 大学名                   | 件数 |
|-----------------------|----|
| ラインマイン大学(旧ヴィースバーデン大学) | 2  |
| シェレバングラ農科大学           | 2  |
| 誠信女子大学                | 2  |
| ガジヤマダ大学               | 2  |
| ブルネイ・ダルサラーム国保健省       | 2  |
| トレド大学                 | 2  |
| ハルムスタッド大学             | 2  |
| ルイビル大学                | 1  |
| サボア大学                 | 1  |
| メチョー大学                | 1  |
| 国立政治大学                | 1  |
| 上海大学                  | 1  |
| 西北大学                  | 1  |
| チュラロンコン大学             | 1  |
| 浙江工商大学                | 1  |
| ディボネゴロ大学              | 1  |
| 江西師範大学                | 1  |

## 外国人研究者等の受け入れ状況



### 【地域別】

|        | アジア | 北米 | ヨーロッパ | アフリカ | その他 | 合計 |
|--------|-----|----|-------|------|-----|----|
| 2010年度 | 19  | 1  | 4     | 1    | 2   | 27 |
| 2011年度 | 22  | 1  | 5     | 1    | 2   | 31 |
| 2012年度 | 21  | 1  | 3     | 0    | 2   | 27 |

### 【国別】

#### アジア

| 国名            | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 大韓民国          | 1      | 0      | 0      |
| タイ王国          | 4      | 7      | 5      |
| 中華人民共和国       | 7      | 8      | 7      |
| バングラデッシュ人民共和国 | 2      | 2      | 4      |
| マレーシア         | 1      | 1      | 0      |
| ネパール          | 1      | 0      | 0      |
| パキスタン         | 0      | 1      | 0      |
| インドネシア共和国     | 2      | 2      | 3      |
| インド           | 0      | 1      | 0      |
| フィリピン共和国      | 1      | 0      | 1      |
| ベトナム          | 0      | 0      | 1      |

#### 北米

| 国名      | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| アメリカ合衆国 | 1      | 1      | 1      |

#### 中東

| 国名   | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 |
|------|--------|--------|--------|
| オマーン | 0      | 1      | 0      |

#### ヨーロッパ

| 国名       | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 |
|----------|--------|--------|--------|
| ベルギー王国   | 2      | 2      | 1      |
| ポルトガル共和国 | 1      | 1      | 0      |
| スウェーデン   | 1      | 0      | 0      |
| スペイン     | 0      | 1      | 0      |
| フィンランド   | 0      | 1      | 1      |
| ルーマニア    | 0      | 0      | 1      |

#### アフリカ

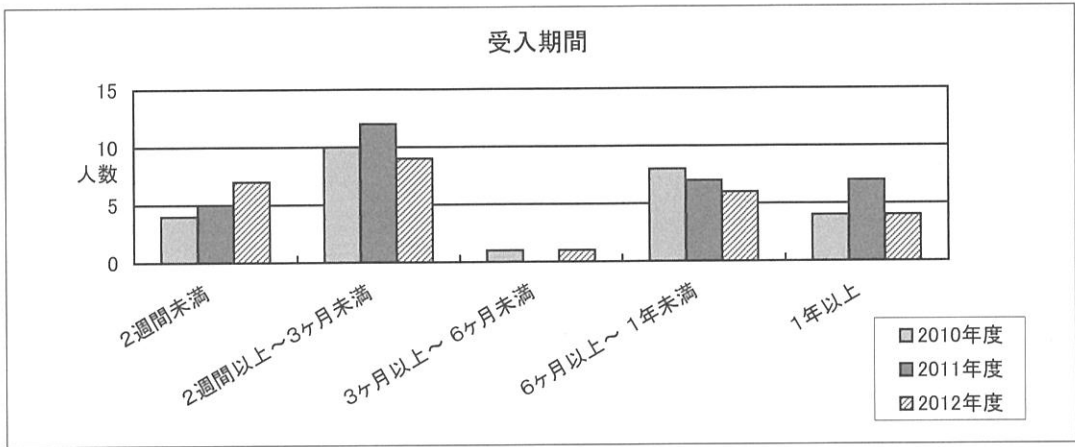
| 国名   | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 |
|------|--------|--------|--------|
| リベリア | 1      | 1      | 0      |

#### 南米

| 国名     | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| アルゼンチン | 1      | 0      | 0      |
| ブラジル   | 0      | 1      | 2      |

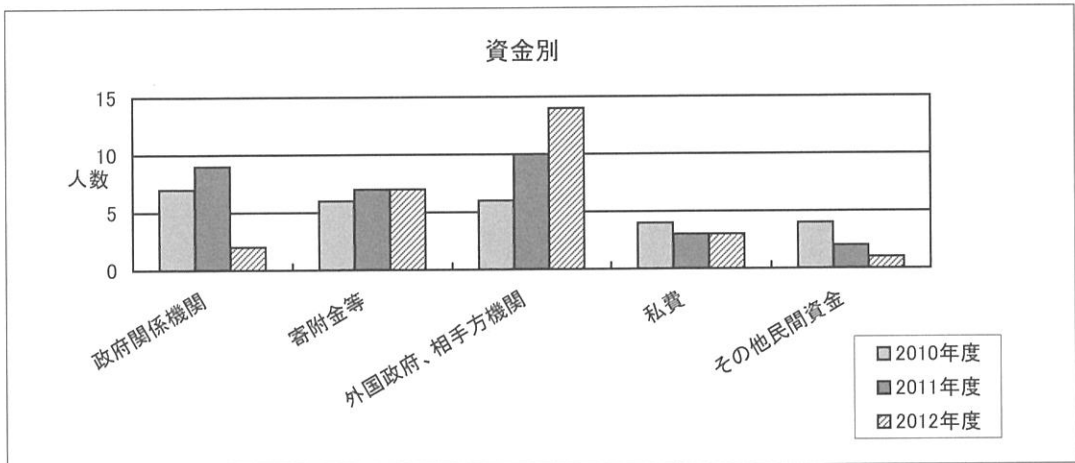
#### オセアニア

| 国名      | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| オーストラリア | 1      | 0      | 0      |



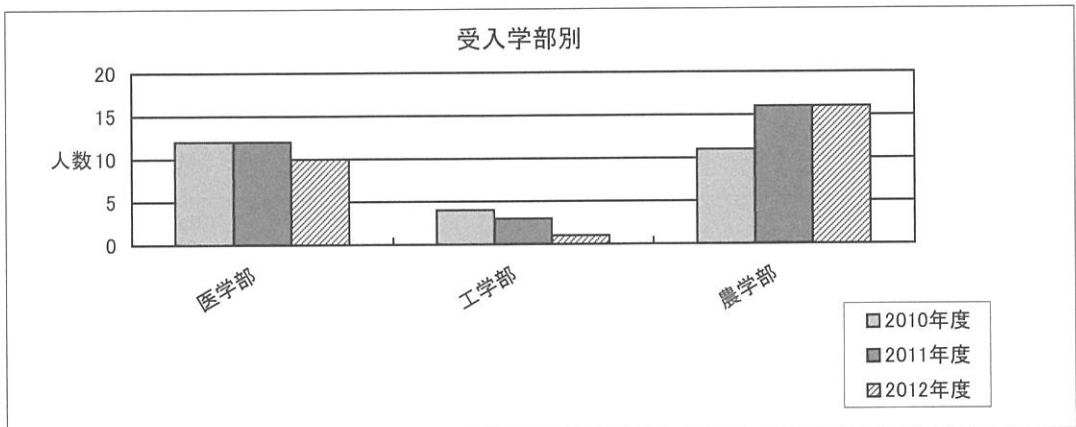
【受入期間別】

| 年度     | 2週間未満 | 2週間以上～3ヶ月未満 | 3ヶ月以上～6ヶ月未満 | 6ヶ月以上～1年未満 | 1年以上 | 合計 |
|--------|-------|-------------|-------------|------------|------|----|
| 2010年度 | 4     | 10          | 1           | 8          | 4    | 27 |
| 2011年度 | 5     | 12          | 0           | 7          | 7    | 31 |
| 2012年度 | 7     | 9           | 1           | 6          | 4    | 27 |



【資金別】

| 年度     | 政府関係機関 | 寄附金等 | 外国政府、相手方機関 | 私費 | その他民間資金 | 合計 |
|--------|--------|------|------------|----|---------|----|
| 2010年度 | 7      | 6    | 6          | 4  | 4       | 27 |
| 2011年度 | 9      | 7    | 10         | 3  | 2       | 31 |
| 2012年度 | 2      | 7    | 14         | 3  | 1       | 27 |



【受入学部別】

| 年度     | 医学部 | 工学部 | 農学部 | 合計 |
|--------|-----|-----|-----|----|
| 2010年度 | 12  | 4   | 11  | 27 |
| 2011年度 | 12  | 3   | 16  | 31 |
| 2012年度 | 10  | 1   | 16  | 27 |

平成 24 年度国際学会・シンポジウム開催状況

| 学会・シンポ等名称  | 開催期間                   | 開催場所                     | 招へい外国人研究者  | 主催部局等名                                  | 担当教員   | 参加者人数                 |
|--|------------------------|--------------------------|--|---|--|-----------------------|
| 2012年 IEEE<br>メカトロニクス<br>とオートメー<br>ションに関する<br>国際会議                     | 2012/<br>8/5<br>～8/9   | 中国四川<br>省成都市             | 1. Dr. Miroslav Krstic<br>Professor and<br>Director, Cymer Center<br>for Control Systems<br>and Dynamics, University<br>of California, San Diego,<br>U.S.A<br><br>2. Prof. Tzyh Jong Tarn,<br>Center for Robotics<br>and Automation<br>Washington University,<br>St. Louis, USA<br><br>3. Dr. Bruno Siciliano<br>Professor of Control<br>and Robotics, and<br>Director of the<br>PRISMA Lab in the<br>Department of Com-<br>puter and Systems<br>Engineering at Uni-<br>versity of Naples<br>Federico II, Napoli, It-<br>aly<br><br>4. Dr. Kazuhito Yokoi<br>Deputy Director, In-<br>telligent Systems Re-<br>search Institute<br>(IS), National Insti-<br>tute of Advanced In-<br>dustrial Science and<br>Technology ( AIST ),<br>Japan | 工学部                                     | 郭 書祥<br>(組織委員長)<br>平田 英之<br>(副組織委員長)<br>秦 清治<br>(組織委員)   | 490人<br>(31の国<br>と地域) |
| 第4回 香川大<br>学・チェンマイ<br>大学合同シンポ<br>ジウム2012                               | 2012/<br>9/19<br>～9/21 | 香川大学<br>幸町<br>キャンパ<br>ス  | Chirawan Chaisuwan,<br>Associate Professor and<br>Assistant to the President<br>for Financial and Property<br>Management, Surasak<br>Watanask, Dean of The<br>Graduate School<br>ほか33名   | 香川大学                                    | 第4回香川大<br>学・チェンマ<br>イ大学の合同<br>シンポジウム<br>準備委員会<br>(委員長:<br>工学部教授<br>澤田 秀之)  | 192人                  |
| Seminar on<br>Green Sustainable<br>Chemistry in<br>Tottori<br>(2012-2) | 2012/<br>12/3          | 香川大学<br>(鳥取大<br>学)       | Dr. Franz Hollman<br>オランダ、<br>デルフト工科大学   | 教育学部<br>(インター<br>ナショナル<br>ウィーク<br>協力行事) | 高木由美子<br>(香川大学)<br>(伊藤敏幸<br>(鳥取大学))  | 15人<br>(200人)         |
| 国際会議・第2<br>回香川大学およ<br>びハンバット国<br>立大学合同によ<br>る材料関連研究<br>会               | 2013/1/7               | 香川大学<br>工学部<br>キャンパ<br>ス | Yoon-Kee KIM,<br>Seon-Tai KIM,<br>Deok-Yong PARK,<br>Joon-Sik PARK,<br>Jung-Hyun KIM<br>(韓国ハンバット国立大学)  | 工学部                                     | chair・委員長:<br>須崎嘉文<br>co-chair,<br>副委員長:<br>掛川寿夫<br>末永慶寛<br>実行委員:<br>中西俊介<br>馮 旗<br>田中康弘<br>舟橋正浩<br>宮川勇人<br>水口 隆 | 60人                   |

# 日本語教育カリキュラム等の報告

インターナショナルオフィス 高 水 徹

## 1. 概要

インターナショナルオフィス留学生センターが平成24年度に提供した日本語教育関連科目等は、以下の通りである。

- ① 日本語研修コース（中上級）
- ② 日本語講座
- ③ 日本語補講
- ④ 医学部における日本語サロン
- ⑤ 日本語語学研修プログラム
- ⑥ 日本の食の安全留学生特別コースの日本語関連科目

平成23年度との主な相違は、以下の点である。前期に国費留学生が予備教育を受けることとなり、そのレベルに合わせて日本語研修コースを設置することになったが、23年度のような入門レベルの学生ではなく、ある程度以上の日本語能力を有しているため、留学生センターとして中上級を提供するとともに、全学共通科目の中で適切なレベルのものを受講させることとした。

### ① 日本語研修コース（中上級）

国費留学生の予備教育として開講されるコースで、集中的に日本語を習得する。昨年度のように入門レベルの学生が対象となる場合には、週1コマの「日本事情」を特別に開講するが、今回の学生は全学共通科目の日本事情に出席できるレベルだったため、特に国費留学生に合わせた科目の開講は行わなかった。なお平成24年度後期は、所属学生がいなかったため、本コースは開講されていない。

本人の希望もあり、また、実際に特に学習の必要性が認められたため、本コースでは漢字および語彙の学習に重点が置かれた。

なお、24年度までの留学生センター所属の国費留学生に関するデータは、末尾に掲載している。

### ② 日本語講座

### ③ 日本語補講

これらの授業は、学生が自分の都合のよい時間に、内容およびレベルを選択して受講することができる。②と③は、以前は位置づけに関しても区別されていたが、近年は予算的な面以外は同様になっており、どちらも本学に所属する学生が日本語力を向上させるためのものである。

### ④ 医学部における日本語サロン

医学部の留学生のため、地元香川で日本語学習支援・生活支援を行っているボランティア団体

である日本語サークル「わ」の会にお願いして、サロンを開催していただいている。以前は日本語レベルの高い学生も対象としていたが、現在では、対象を入門または初級に絞って行っている。

⑤ 日本語語学研修プログラム

本プログラムに関しては末尾の一覧に掲載されていない。このプログラムは海外の協定大学等に在籍している学生を対象に、2週間の期間で年2回を原則として行われるものであるため、末尾の一覧のような定期で開講される科目とは異なる。

⑥ 日本の食の安全留学生特別コースの日本語関連科目

上記の通り、これらの科目はアジア人財資金構想（高度専門留学生育成事業）の科目を引き継いでおり、含まれるのは「アジア人財日本語Ⅱ」「日本語基礎Ⅱ」「ビジネス日本語Ⅰ、Ⅱ」「ビジネス教育Ⅰ」である。（※「アジア人財日本語」は、同事業の自立化を受けて、平成24年度後期より授業名を「日本語基礎」と改めた。）

以上に加え、留学生センター以外から提供される以下の授業科目も、一覧に掲載されている。

⑦ 全学共通科目の日本語・日本事情（大学教育開発センター提供、表中※で表記、単位あり）

⑧ 農学研究科 AAP コースの日本語・日本事情

⑦はその編成等を留学生センター教員が担当している。⑧は農学研究科における英語によるコースの中で、必修化されている日本語および日本事情に関する科目で、その編成、実施を留学生センターが担当している。

これらに関しては、インターナショナルオフィス留学生センターが直接提供しているわけではないが、カリキュラム、非常勤講師の調整、運営等を留学生センターまたはその教員が主導している。

留学生へのこれらの授業に関する周知は、以下の一覧に基づき、新入留学生対象のガイダンスや掲示、ネット上の掲載を通して行っている。



## 24年度前期授業一覧

| 曜日       | 幸町キャンパス<br>Saiwai-cho Campus | 農学部キャンパス<br>Faculty of Agriculture                                       | 医学部キャンパス<br>Faculty of Medicine                                       | 工学部キャンパス<br>Faculty of Engineering  |
|----------|------------------------------|--|---|---|
| 月<br>Mon | 1                            |  |   |   |
|          | 2                            | 初中級日本語<br>Upper Elementary<br>Japanese Lang. Skills<br>高水<br>Takamizu    |   |   |
|          | 3                            | ※日本語Ⅰa(中級)<br>Japanese Ia<br>(Intermediate)<br>山下(直)<br>Yamashita,<br>N. |   |   |
|          |                              | ※日本語Ⅲa(中上級)<br>Japanese IIIa<br>(Upper Intermediate)<br>轟木<br>Todoroki   |   |   |
|          | 4                            | 初中級日本語<br>Upper Elementary<br>Japanese Lang. Skills<br>塩井<br>Shioi       |   |   |
| 5        |                              |  |   |   |
| 火<br>Tue | 1                            |  |   |   |
|          | 2                            | ※日本語Ⅰb(中級)<br>Japanese Ib<br>(Intermediate)<br>山下(明)<br>Yamashita,<br>T. | サバイバル日本語(初級)<br>Survival Japanese<br>(Elementary)<br>早川<br>Hayakawa   |   |
|          | 3                            | ※日本事情Ⅰb<br>Japanese Affairs Ib<br>高水<br>Takamizu                         | アジア人財日本語Ⅱ<br>青木<br>Aoki   |   |
|          |                              | 初中級日本語<br>Upper Elementary<br>Japanese Lang. Skills<br>和田<br>Wada        |   |   |
|          | 4                            | 初中級日本語<br>Upper Elementary<br>Japanese Lang. Skills<br>和田<br>Wada        | ビジネス日本語Ⅰ<br>Business Japanese I<br>(Upper Intermediate)<br>青木<br>Aoki |   |
| 5        |                              |  |   |   |
| 水<br>Wed | 1                            |  |   |   |
|          | 2                            | 中上級日本語<br>Upper Intermediate<br>Japanese Lang. Skills<br>高水<br>Takamizu  | 科学技術日本語<br>Japanese for Science and<br>Technology<br>早川<br>Hayakawa   |   |
|          | 3                            | 中上級日本語<br>Upper Intermediate<br>Japanese Lang. Skills<br>大野呂<br>Ohnoro   |   | 日本語サロン(初級)<br>Lang. Salon Class<br>(Elementary)<br>14:00 - 15:30<br>「わ」の会 |
|          | 4                            | 中上級日本語<br>Upper Intermediate<br>Japanese Lang. Skills<br>大野呂<br>Ohnoro   |   |   |
|          | 5                            |  |   |   |
| 木<br>Thu | 1                            |  |   |   |
|          | 2                            | ※日本語Ⅴb(上級)<br>Japanese Vb<br>(Advanced)<br>佐藤<br>Sato                    |   |   |
|          | 3                            | ※日本語Ⅲb(中上級)<br>Japanese IIIb<br>(Upper Intermediate)<br>佐藤<br>Sato       |   |   |
|          | 4                            |  |   |   |
|          | 5                            |  |   |   |
| 金<br>Fri | 1                            | 中上級日本語<br>Upper Intermediate<br>Japanese Lang. Skills<br>塩井<br>Shioi     |   |   |
|          | 2                            | ※日本語Ⅴa(上級)<br>Japanese Va<br>(Advanced)<br>早川<br>Hayakawa                |   |   |
|          | 3                            | ※日本事情Ⅰa<br>Japanese Affairs Ia<br>早川<br>Hayakawa                         |   | 初中級1<br>Upper Elementary 1<br>児島<br>Kojima                                |
|          | 4                            |  |   | 初中級2<br>Upper Elementary 2<br>児島<br>Kojima                                |
|          | 5                            |  |   |   |

## 24年度後期授業一覧

| 曜日       | 幸町キャンパス<br>Saiwai-cho Campus |  | 農学部キャンパス<br>Faculty of Agriculture          |   | 医学部キャンパス<br>Faculty of Medicine |  | 工学部キャンパス<br>Faculty of Engineering |  |
|----------|------------------------------|--|---|---|---------------------------------|--|------------------------------------|--|
| 月<br>Mon | 1                            |  |   |   |                                 |  |                                    |  |
|          | 2                            |  |   | 日本事情・地域交流<br>Studies on Japanese<br>Culture/Community<br>Exchange   | 早川<br>Hayakawa                  |  |                                    |  |
|          | 3                            | ※日本語IVa(中上級)<br>Japanese IVa<br>(Upper Intermediate)<br>中級日本語<br>Intermediate<br>Japanese Lang. Skills | 轟木<br>Todoroki<br>高水<br>Takamizu            |   |                                 |  |                                    |  |
|          | 4                            | 中級日本語<br>Intermediate<br>Japanese Lang. Skills   | 高水<br>Takamizu                              |   |                                 |  |                                    |  |
|          | 5                            |  |   |   |                                 |  |                                    |  |
| 火<br>Tue | 1                            |  |   | ビジネス日本語Ⅱ  | 宝山<br>Hozan                     |  |                                    |  |
|          | 2                            | ※日本語Ⅰc(中級)<br>Japanese 1c<br>(Intermediate)<br>※日本語IVb(中上級)<br>Japanese IVb<br>(Upper Intermediate)    | 高水<br>Takamizu<br>山下(明)<br>Yamashita,<br>T. | ビジネス教育Ⅰ   | 宝山<br>Hozan                     |  |                                    |  |
|          | 3                            | 中級日本語<br>Intermediate<br>Japanese Lang. Skills   | 和田<br>Wada                                  | 日本語基礎Ⅰ<br>Basic Japanese I<br>(Elementary)                          | 青木<br>Aoki                      |  |                                    |  |
|          | 4                            | 中級日本語<br>Intermediate<br>Japanese Lang. Skills   | 和田<br>Wada                                  | 日本語基礎Ⅲ<br>Basic Japanese III<br>(Intermediate)                      | 青木<br>Aoki                      |  |                                    |  |
|          | 5                            |  |   |   |                                 |  |                                    |  |
| 水<br>Wed | 1                            |  |   |   |                                 |  |                                    |  |
|          | 2                            | ※日本語Ⅱa(中級)<br>Japanese 2a<br>(Intermediate)  | 佐藤<br>Sato                                  | フレッシュマンセミナー<br>(初級日本語)<br>Freshman Seminar<br>(Elementary Japanese) | 早川<br>Hayakawa                  |  |                                    |  |
|          | 3                            | ※日本語Ⅱb(中級)<br>Japanese 2b<br>(Intermediate)  | 佐藤<br>Sato                                  |   |                                 | 日本語サロン(初級)<br>Lang. Salon Class<br>(Elementary)<br>14:00 - 15:30 | 「わ」の<br>会                          |  |
|          | 4                            |  |   |   |                                 |  |                                    |  |
|          | 5                            |  |   |   |                                 |  |                                    |  |
| 木<br>Thu | 1                            |  |   |   |                                 |  |                                    |  |
|          | 2                            | ※日本語Ⅱc(中級)<br>Japanese 2c<br>(Intermediate)<br>※日本語Ⅵb(上級)<br>Japanese Ⅵb<br>(Advanced)                 | 塩井<br>Shioi<br>山下(直)<br>Yamashita,<br>N.    |   |                                 |  |                                    |  |
|          | 3                            | ※日本事情Ⅱb<br>Japanese Affairs 2b<br>中上級会話<br>Upper Intermediate<br>Conversation                          | ロン<br>Lrong<br>大野呂<br>Ohnoro                |   |                                 |  |                                    |  |
|          | 4                            | 中上級聴解<br>Upper Intermediate<br>Listening   | 大野呂<br>Ohnoro                               |   |                                 |  |                                    |  |
|          | 5                            |  |   |   |                                 |  |                                    |  |
| 金<br>Fri | 1                            |  |   |   |                                 |  |                                    |  |
|          | 2                            | ※日本語Ⅵa(上級)<br>Japanese Ⅵa<br>(Advanced)  | 早川<br>Hayakawa                              |   |                                 |  |                                    |  |
|          | 3                            | 初級日本語<br>Elementary<br>Japanese Lang. Skills   | 塩井<br>Shioi                                 |   |                                 |  |                                    |  |
|          | 4                            | 初級日本語<br>Elementary<br>Japanese Lang. Skills   | 塩井<br>Shioi                                 |   |                                 |  |                                    | 初中級1<br>Upper Elementary 1<br>児島<br>Kojima |
|          | 5                            |  |   |   |                                 |  |                                    | 初中級2<br>Upper Elementary 2<br>児島<br>Kojima |

## 留学生センター所属国費留学生

| 期 間              | 国 籍           | 人数 | 予備教育後の所属   |
|------------------|---------------|----|------------|
| 2003年10月～2004年3月 | コ ス タ リ カ     | 1  | 教育学部（教員研修） |
| 2004年4月～2004年9月  | ド ミ ニ カ 共 和 国 | 1  | 経済学研究科     |
|                  | ベ ト ナ ム       | 1  | 経済学研究科     |
| 2004年10月～2005年3月 |               | 0  |            |
| 2005年4月～2005年9月  | ア ル ゼ ン チ ン   | 1  | 医学系研究科     |
|                  | エ ジ プ ト       | 1  | 医学系研究科     |
|                  | パプアニューギニア     | 1  | 医学系研究科     |
| 2005年10月～2006年3月 | フ ィ リ ピ ン     | 1  | 教育学部（教員研修） |
| 2006年4月～2006年9月  |               | 0  |            |
| 2006年10月～2007年3月 |               | 0  |            |
| 2007年4月～2007年9月  |               | 0  |            |
| 2007年10月～2008年3月 |               | 0  |            |
| 2008年4月～2008年9月  |               | 0  |            |
| 2008年10月～2009年3月 | フ ィ リ ピ ン     | 1  | 教育学部（教員研修） |
| 2009年4月～2009年9月  | ジ ン バ ブ エ     | 1  | 農学研究科      |
| 2009年10月～2010年3月 | ペ ル ー         | 1  | 教育学部（教員研修） |
| 2010年4月～2010年9月  |               | 0  |            |
| 2010年10月～2011年3月 | カ ン ボ ジ ア     | 1  | 教育学部（教員研修） |
|                  | ホ ン ジ ュ ラ ス   | 1  | 教育学部（教員研修） |
| 2011年4月～2011年9月  |               | 0  |            |
| 2011年10月～2012年3月 | イ ン ド ネ シ ア   | 1  | 教育学部（教員研修） |
|                  | マ レ ー シ ア     | 1  | 教育学部（教員研修） |
| 2012年4月～2012年9月  | ロ シ ア         | 1  | 経済学研究科     |
| 2012年10月～2013年3月 |               | 0  |            |

## 相談（交流推進）事業の報告

インターナショナルオフィス ロン リム

本学の留学生相談担当教員は名目上、1名であるが、実際、大学内外から、多くの方々の協力や支援のお陰で、相談業務を円滑に推進して来られた。例年、大半の相談は、依頼者に耳を傾けるだけで済む。解決し難い相談は、まず、学内の同僚や上司と相談して、解決方法を探る。また、必要であれば、学外の専門家や有識者の助言をいただく。

本年の相談件数は、275件だった（表1）。件数は、1回相談されたら、あるいは、こちらから相談を求めたら、1件とカウントした。時期的に見ると、やはり、長期休業時の相談件数は、学期中よりやや少ない。学期中の件数は、20数件が平均だった。また、長期休業の8・9・12月の平均件数は10数件であった。

表1 相談方法

| 月  | メール | 電話 | ファックス | 来室での相談 | 学内での相談 | 学外での相談 | 合計  |
|----|-----|----|-------|--------|--------|--------|-----|
| 1  | 2   | 4  | 0     | 13     | 6      | 0      | 25  |
| 2  | 10  | 2  | 8     | 6      | 0      | 0      | 26  |
| 3  | 9   | 4  | 0     | 5      | 5      | 1      | 24  |
| 4  | 7   | 2  | 0     | 15     | 1      | 1      | 26  |
| 5  | 7   | 4  | 0     | 8      | 4      | 2      | 25  |
| 6  | 11  | 3  | 1     | 5      | 6      | 1      | 27  |
| 7  | 10  | 4  | 1     | 7      | 4      | 0      | 26  |
| 8  | 7   | 5  | 0     | 1      | 2      | 2      | 17  |
| 9  | 10  | 4  | 0     | 1      | 3      | 1      | 19  |
| 10 | 9   | 3  | 0     | 10     | 1      | 0      | 23  |
| 11 | 12  | 1  | 0     | 9      | 2      | 0      | 24  |
| 12 | 6   | 0  | 1     | 3      | 2      | 1      | 13  |
| 合計 | 100 | 36 | 11    | 83     | 36     | 9      | 275 |

相談のルートで最も多かったのはメールによるもので、100件あった。次に多かったのは、担当教員の研究室での相談で、83件だった。次いで多かったのは、電話での相談と学内での相談で、これは共に36件だった。ファックスでの相談は11件だけで、相談に関する情報伝達の内容が主だった。学外での相談は9件あった。

表2 相談者

| 月  | 留学生 | 日本人学生 | 教職員 | 一般 | 外部学生 | 外部教職員 |
|----|-----|-------|-----|----|------|-------|
| 1  | 4   | 5     | 12  | 3  | 0    | 1     |
| 2  | 2   | 8     | 9   | 1  | 1    | 5     |
| 3  | 3   | 5     | 3   | 9  | 1    | 3     |
| 4  | 5   | 9     | 5   | 1  | 0    | 6     |
| 5  | 6   | 3     | 7   | 6  | 2    | 1     |
| 6  | 5   | 2     | 8   | 10 | 0    | 2     |
| 7  | 7   | 1     | 12  | 4  | 0    | 2     |
| 8  | 8   | 0     | 5   | 0  | 0    | 4     |
| 9  | 4   | 0     | 5   | 3  | 0    | 7     |
| 10 | 9   | 2     | 5   | 4  | 0    | 3     |
| 11 | 5   | 2     | 4   | 3  | 1    | 9     |
| 12 | 0   | 4     | 4   | 2  | 0    | 3     |
| 合計 | 58  | 41    | 79  | 46 | 5    | 46    |

相談者別に見ると、教職員とのやり取りが最も多く、（表2）79件だった。その背景には、留学生をめぐるトラブルの関係がある（以下、報告）。留学生からの相談件数は58件だった。三番目と

して多かったのは、一般の方々からの46件だった。同じく46件を記録したのは、外部教職員からの相談だった。日本人の学生からの相談件数は41件だった。外部の学生からの相談は5件であった。

表3 相談内容

| 月  | 情報交換関係 | 学業関係 | 入管関係 | 経済問題 | 医療関係 | 生活一般 | 就職・バイト | トラブル関係 | 国際交流活動 | 学術交流関係 |
|----|--------|------|------|------|------|------|--------|--------|--------|--------|
| 1  | 1      | 6    | 0    | 0    | 0    | 6    | 2      | 6      | 3      | 1      |
| 2  | 2      | 9    | 0    | 0    | 0    | 2    | 3      | 2      | 4      | 4      |
| 3  |        | 11   | 0    | 0    | 0    | 12   | 0      | 0      | 0      | 1      |
| 4  | 4      | 10   | 0    | 1    | 0    | 3    | 1      | 4      | 1      | 2      |
| 5  | 1      | 7    | 1    | 0    | 0    | 2    | 0      | 7      | 7      | 0      |
| 6  | 2      | 5    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0      | 1      | 18     | 1      |
| 7  | 1      | 4    | 1    | 0    | 1    | 1    | 0      | 3      | 13     | 2      |
| 8  | 1      | 2    | 0    | 0    | 3    | 1    | 0      | 9      | 1      | 0      |
| 9  | 2      | 2    | 0    | 0    | 3    | 2    | 0      | 6      | 2      | 2      |
| 10 | 2      | 3    | 0    | 1    | 0    | 2    | 0      | 5      | 9      | 1      |
| 11 | 1      | 6    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0      | 2      | 12     | 3      |
| 12 | 1      | 6    | 0    | 0    | 0    | 2    | 0      | 0      | 4      | 0      |
| 合計 | 18     | 71   | 2    | 2    | 7    | 33   | 6      | 45     | 74     | 17     |

相談内容について、一番多かったケースは74件を記録した国際交流活動に関する相談だった（表3）。外部者や一般の方々からの相談は特にこのタイプが多かった。二番目に多かった相談内容は、学問関係のことだった。日本人学生からの海外留学や研修に関する相談はこの分類に入る。三番目に多かったのは、トラブル関係の相談で45件だった。このタイプの相談は、本来、相談業務の中でも、もっとも重要なタイプに分類される。本年度は、様々なトラブルが発生した。盗電事件をはじめ、留学生寮入居者間の喧嘩、盗難事件、留学生と日本人学生の間で発生した誤解、精神不安定問題、学生の低成績問題、交通事故等が例としてあげられる。お陰さまで、深刻なトラブルを含め、解決することができた。次に多かった相談内容は、生活一般で、ごみ処理、幼稚園の入園、アパートのあっせんのような相談が典型的だった。情報交換関係は18件の相談を記録した。これは、挨拶の仕方等を含めた、比較的解決の容易なものだった。学術交流関係の相談は17件あった。学術協定の事項については、海外の大学の教職員との相談である。残りの相談内容は就職・アルバイト（6件）、経済問題（2件）、入管関係（2件）である。

表4 過去5年間との比較

| 相談内容                                     | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 |
|--|------|------|------|------|------|
| 情報交換関係（情報収集・提供、挨拶）                       | 58   | 26   | 52   | 32   | 18   |
| 学業関係（入学、進学、研究、学習、見学）                     | 22   | 18   | 41   | 99   | 71   |
| 入管関係（入管、ビザ、在留）                           | 2    | 19   | 4    | 6    | 2    |
| 経済問題（奨学金、授業料）                            | 4    | 6    | 23   | 5    | 2    |
| 医療関係※                                    |      |      |      | 3    | 7    |
| 生活一般（住居、日常生活、チューター）                      | 29   | 53   | 31   | 24   | 33   |
| 就職・アルバイト関係                               | 12   | 7    | 7    | 2    | 6    |
| トラブル関係（人間関係、ミスコミュニケーション、家庭内トラブル、交通事故、事件） | 5    | 16   | 11   | 42   | 45   |
| 国際交流・サークル活動                              | 114  | 70   | 81   | 65   | 74   |
| 学術交流関係（海外大学協定など）                         | 29   | 15   | 32   | 21   | 17   |
| 合計                                       | 275  | 230  | 282  | 299  | 275  |

※「医療関係」の項目は、2011年より設けた。

# 海外語学研修プログラムの報告

インターナショナルオフィス 正 楽 藍

## 1. 海外語学研修プログラムの概要

インターナショナルオフィスでは毎年、夏休みと春休みの期間中、海外(韓国、オーストラリア、カナダ)の大学の外国語学習センターへ本学学生を派遣している。本プログラムは平成16年度に開始され、平成24年度で9年目をむかえる。本プログラムの目指すところは、主に日本人学生を対象として、彼らの外国語能力を向上させ、海外経験を通して国際感覚を涵養させることである。また、夏休みや春休みの短期間の研修を経験した後、本格的な海外留学、特に、本学の学術交流協定校への交換留学を目指す学生の増加も期待される。

本プログラムの研修先は、協定校に限らず、本学教員が実際に訪れたり、先方の教職員と連絡を取り合ったりして、研修先として相応しい(研修内容や研修期間、治安など)と判断した海外の大学である。研修は本学学生のみを対象としたものではなく、その大学が広く、さまざまな国や地域から受講者を受け入れているものを選んでいく。これは、外国人と外国語で意思疎通を図るという、日本ではほとんど経験することのない経験を積ませるためである。本学教職員による研修への引率は現在のところ実施していない。現地の空港へ到着してからの学生への引率は先方の教職員、ときには研修先の大学の学生にお願いしている。

研修内容は、たとえば英語圏の研修先の場合、一般英語(General English)コースに沿ったもので、読む・書く・聴く・話す能力の総合的な向上を目指している。また、大学外でも外国語や外国人と触れ合う機会をもたせるため、現地での生活はホームステイである。学生は、大学での研修では経験することのできない、外国人家庭での生活を経験することとなる。

帰国後、学生は本学へ体験談を提出し、一部の学生は帰国報告会での帰国報告を行う。

## 2. 平成24年度の研修

平成24年度の研修先大学と期間は以下の通りである。

### 【韓国】

大邱大学(平成24年8月6日～8月24日)

建国大学(平成24年8月13日～8月24日、平成25年2月18日～2月28日)

### 【オーストラリア】

西オーストラリア大学(平成24年8月27日～9月28日、平成25年2月11日～3月15日)

### 【カナダ】

カルガリー大学(平成24年9月4日～9月14日)

ビクトリア大学(平成24年9月4日～9月28日、平成25年3月4日～3月29日)

ブリティッシュコロンビア大学(平成25年3月4日～3月29日)

毎学期、海外留学ガイダンスを開催し、本学の海外留学プログラムの紹介とあわせて、本プログラムの研修先大学や研修コースの紹介、ホームステイなどについて説明している。平成24年度は、

前期のガイダンスは5月30日(水)に、後期のガイダンスは11月28日(水)に開催した(後期のガイダンスは香川大学インターナショナルウィークの一環で開催し、名称も「海外留学フェア」とした)。ガイダンスとあわせて、研修生の帰国報告会も行い、研修プログラムの内容や現地での生活、ホームステイの様子などを紹介してもらっている。

渡航前には本プログラムに参加する学生向けの危機管理セミナーを開催し、研修先でのちょっとした怪我や病気の他、有事の際の対応について説明している。本プログラムの参加学生は、このセミナーへの出席が義務付けられている。平成24年度後期のセミナーは学外から危機管理の専門家(ジェイアイ傷害火災保険株式会社営業企画部リスクソリューション担当部長・城戸克斉氏)をお招きし、「香川大学海外研修生/留学生のための海外リスクマネジメント」と題して、より専門的な立場から学生らへ危機管理の心構えを講義していただいた。さらに、教職員も危機管理についての基本的な知識と対応を理解しておかなければならず、学生対象の危機管理セミナーと同時に、教職員対象のセミナー「海外危機管理セミナー～大学としての対応～」も開催した。

上記ガイダンスやセミナーの他、インターナショナルオフィスでは、海外留学、特に学术交流協定校への留学を目指す学生を対象とした海外留学相談窓口を設けたり、国際交流スペースでの情報提供を行ったりしている。

### 3. 研修参加者の実績

本プログラムが開始された平成16年度から平成24年度までの研修参加者と研修先は表1の通りである。

表1. 海外語学研修への参加実績（平成16年度～平成24年度）

| 総計180名                                   | 学部 | 教育学部 |   |      |      | 経済学部 |   |      |      | 法学部  |   |      |   | 農学部 |   |   |   | 工学部 |   |      |   | 医学部 |   |   |      |   |   |
|--|----|------|---|------|------|------|---|------|------|------|---|------|---|-----|---|---|---|-----|---|------|---|-----|---|---|------|---|---|
|  | 学年 | 1    | 2 | 3    | 4    | 1    | 2 | 3    | 4    | 1    | 2 | 3    | 4 | 1   | 2 | 3 | 4 | 1   | 2 | 3    | 4 | 1   | 2 | 3 | 4    | 5 | 6 |
|  | 小計 | 73名  |   |      |      | 47名  |   |      |      | 19名  |   |      |   | 23名 |   |   |   | 16名 |   |      |   | 2名  |   |   |      |   |   |
| 平成16年度（3名）                               |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| エディスコワン大学                                |    |      | 1 | 2    |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 平成17年度（25名）                              |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 南ソウル大学                                   |    |      |   | 1    |      |      |   | 1    |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   | 1    |   |     |   |   |      |   |   |
| ビクトリア大学                                  |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| プリティッシュコロンビア大学                           |    |      | 1 |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   | 1    |   |     |   |   |      |   |   |
| サイモンフレイザー大学                              |    |      |   |      |      |      |   |      |      | 1    |   |      |   |     | 2 | 1 | 1 |     |   |      |   | 1   |   |   |      |   |   |
| エディスコワン大学                                |    | 1    | 4 | 2    |      |      | 1 | 1    |      |      | 1 |      |   |     |   |   |   |     |   | 2    | 1 |     |   |   |      |   |   |
| 平成18年度（17名）                              |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 大邱大学                                     |    |      |   |      | 1    |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 南ソウル大学                                   |    |      | 1 | 1    |      |      |   | 1    |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| ビクトリア大学                                  |    |      |   |      | 1    |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| プリティッシュコロンビア大学                           |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      | 4 |   |
| サイモンフレイザー大学                              |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      | 1 |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| エディスコワン大学                                |    |      | 2 |      |      |      | 1 | 1    |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   | 1    |   |     |   |   |      |   |   |
| サンフランシスコ大学(パークレー校)                       |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      | 1 |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 平成19年度（38名）                              |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| ビクトリア大学                                  |    |      |   |      |      | 4(4) |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| サイモンフレイザー大学                              |    | 1    | 3 |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   | 1    |   |     |   |   |      |   |   |
| カルガリー大学                                  |    |      |   |      |      |      |   | 2    | 1    |      |   |      |   |     | 2 | 1 | 1 |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 北プリティッシュコロンビア大学                          |    |      |   |      |      | 1(1) |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| アルバータ大学                                  |    |      |   |      |      | 4(4) |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| エディスコワン大学                                |    | 2    | 1 |      |      | 1*   |   | 6    |      |      |   | 1    |   |     | 1 | 2 |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 西オーストラリア大学                               |    |      |   |      |      |      |   |      |      | 1(1) |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| スウィンバーン工科大学                              |    |      |   |      | 1(1) |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| カリフォルニア大学(リバーサイド校)                       |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   | 1    |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 平成20年度（17名）                              |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| ビクトリア大学                                  |    |      | 1 | 2(1) |      |      | 1 | 1(1) |      |      | 1 | 2    |   |     |   |   |   |     |   | 1    |   |     |   |   |      |   |   |
| プリティッシュコロンビア大学                           |    |      |   | 1(1) |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| サイモンフレイザー大学                              |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   | 1    |   |   |
| アルバータ大学                                  |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   | 1(1) |   |     |   |   |      |   |   |
| エディスコワン大学                                |    | 2    |   | 1    |      |      | 1 |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| ジェームスックック大学                              |    |      |   |      |      |      |   | 1    |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 平成21年度（8名）（平成21年度夏休みの研修は、新型インフルエンザのため中止） |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| ビクトリア大学                                  |    | 2    |   | 1(1) |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| プリティッシュコロンビア大学                           |    |      |   | 1(1) |      |      |   |      |      |      |   | 1(1) |   |     | 1 |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| ジェームスックック大学                              |    |      |   |      |      |      |   | 1    |      |      |   |      |   |     |   | 1 |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 平成22年度（23名）                              |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 大邱大学                                     |    |      |   |      |      | 1    |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| ビクトリア大学                                  |    |      | 2 | 3(1) |      |      | 1 | 1    |      |      |   |      |   |     | 1 |   |   |     |   |      | 1 |     |   |   |      |   |   |
| プリティッシュコロンビア大学                           |    | 1    | 1 | 1(1) |      |      |   | 2    |      |      |   | 1    |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   | 1(1) |   |   |
| カルガリー大学                                  |    |      |   |      |      |      |   | 1    |      |      |   |      |   |     | 2 |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| クイーンズランド大学                               |    |      | 1 |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| ジェームスックック大学                              |    |      |   |      |      | 1    |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| クイーンズランド工科大学                             |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     | 1 |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 平成23年度（16名）                              |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 大邱大学                                     |    |      | 1 |      |      |      |   | 1    |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 建国大学                                     |    | 1    |   |      |      |      |   |      |      |      |   | 1    |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 西オーストラリア大学                               |    |      | 1 |      |      |      | 2 | 1    | 1    | 1    |   |      |   |     | 1 |   |   |     |   |      | 2 |     |   |   |      |   |   |
| カルガリー大学                                  |    | 1    |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 平成24年度（33名）                              |    |      |   |      |      |      |   |      |      |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 大邱大学                                     |    |      | 2 |      |      |      |   |      | 1    |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   | 1    |   |   |
| 建国大学                                     |    |      |   |      |      |      |   |      | 1    |      |   |      |   |     |   | 2 |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| 西オーストラリア大学                               |    |      | 1 |      | 1(1) |      |   | 1    |      |      | 3 |      |   |     | 1 |   | 1 |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |
| カルガリー大学                                  |    |      |   |      | 1(1) | 1(1) |   | 1(1) |      |      |   |      | 1 |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   | 1    |   |   |
| ビクトリア大学                                  |    | 2    | 1 | 2(2) |      |      | 2 | 3    |      |      |   |      | 3 | 1   |   |   |   |     |   |      |   |     |   | 1 |      |   |   |
| プリティッシュコロンビア大学                           |    |      | 1 | 1(1) |      |      | 1 | 2    | 1(1) |      |   |      |   |     |   |   |   |     |   |      |   |     |   |   |      |   |   |



## 全学共通科目「海外体験型異文化コミュニケーション」授業（タイ研修）の報告

インターナショナルオフィス 細田 尚美

インターナショナルオフィスは、「海外体験型異文化コミュニケーション」と題する授業を平成24年度から全学共通科目の主題科目の一つとして開講することとなった。今年度は経済学部、教育学部、法学部、農学部の1～2年生6人が受講し、8月22日から9月2日に、インターナショナルオフィス教員とともにタイのチェンマイ大学で研修を行った。研修中は、チェンマイ大学で香川大学や香川県を紹介する英語のプレゼンテーションや同大学の学生とグループ・ディスカッションをしたり、タイ北部山岳民族の子どもたちの施設「暁の家」やランプーンの日系企業を訪問したりして、タイ北部の様々な面について学んだ。

## 第17回・第18回日本語語学研修プログラム報告

インターナショナルオフィス 塩井 実香

### 1. 「日本語語学研修プログラム」の目的

本プログラムは、「外国人学生に日本語教育を提供し、併せて日本、特に川の歴史や文化を紹介するとともに、日本人及び地域社会との交流を図ること」を目的として平成17年より行っているものである。併せて、本研修への参加が、その後の本学への正規留学につながるようにという、言わば呼び水効果の意図もある。

平成24年度には、例年どおり夏季と冬季の2回実施した。以下、それぞれのプログラムについて記す。

### 2. 第17回日本語語学研修プログラム

#### 2-1. 研修生

平成23年度より定員を15名から10名に減らし、平成24年度も同じく定員10名で募集を行った。

結果、残念ながら半数の5名にとどまったものの、台湾より3名、韓国より2名の応募があった。内訳は、台湾は、真理大学（本学協定大学）1名、輔仁大学2名、韓国は2名とも韓国海洋大学（本学協定大学）からの応募であった。専攻別にみると、台湾の3名が日本語専攻、韓国の2名がその他国際関係の専攻であった。

なお、募集要項では「6～10名」の募集を行うとし、6名未満であれば中止の可能性もあると記していたのだが、せっかく応募があったので、5名でも実施することとした次第である。

#### 2-2. 研修期間

平成24年6月25日(月)から7月6日(金)の2週間。

#### 2-3. 研修日程・研修内容

以下の日程で行った。

授業・体験学習・体験学習はいずれも、午前は10:00～11:50、午後は13:00～14:50である。

(授業の場合は50分単位で10分休憩をはさみ、体験学習・学外実習もこの時間設定に準ずる。)

|           |  |           |  |
|-----------|--|-----------|--|
| 6 / 25(月) | 午前：開講式、ガイダンス<br>午後：授業「総合」(担当：ロン)<br>18:00～：情報交換会                             | 6 / 28(木) | 終日：学外実習「小豆島」<br>(担当：ロン)  |
| 6 / 26(火) | 午前：インターナショナルオフィス<br>長表敬訪問、授業「総合」(担<br>当：塩井)<br>午後：体験学習「華道」(講師：華<br>道部、担当：塩井) | 6 / 29(金) | 午前：学外実習「さぬき麺業」<br>(担当：高水)<br>午後：授業「さぬき学」(讃岐うどん<br>について)(担当：大野呂)<br>16:00～：ホストファミリーとの対<br>面式、ホームステイ |
| 6 / 27(水) | 午前：授業「さぬき学」(讃岐うどん<br>について)(担当：正楽)<br>午後：体験学習「茶道」<br>(講師：石州流茶道部、<br>担当：正楽)    | 6 / 30(土) | 終日：ホームステイ  |

|           |   |           |  |
|-----------|---|-----------|--|
| 7 / 1 (日) | 16:00まで: ホームステイ                                 | 7 / 4 (水) | 午前: 体験学習「華道」(講師: 華道部、担当: 正楽)<br>午後: 授業「作文」(担当: 塩井)   |
| 7 / 2 (月) | 午前: 授業「日本事情」(担当: 正楽)<br>午後: 学外実習「栗林公園」(担当: 高水)  | 7 / 5 (木) | 午前: 授業「日本事情」(担当: 正楽)<br>午後: 授業「作文」(担当: 高水)   |
| 7 / 3 (火) | 午前: 授業「さぬき学」(担当: 大野呂)<br>午後: 学外実習「栗林公園」(担当: 高水) | 7 / 6 (金) | 午前: 授業「総合」(担当: 高水)<br>13:30～ 花・花器の片付け<br>15:00～ 着物の着付け<br>16:30～ 研修体験発表会<br>17:30～ 修了式<br>18:00～19:30 意見交換・反省会 |

#### 2-4. 授業・体験学習・学外実習・企業見学

授業に関して特筆すべきこととしては、「さぬき学」を設けたことである。これは、本学の短期研修プログラムの独自性をより打ち出すべく、香川県に焦点を当てた授業を行おうということ新たに設けたものである。今回は特に「讃岐うどん」をテーマとし、讃岐うどんに関わる学習やグループ発表等を行った。また、さぬき学に関連して、従来はうどん工場に見学に行っていたのだが、今回からは見学先を、見学だけでなくうどん打ち体験もできる先へ変更した。もともとアジアの学生はうどんが口に合うのか、研修期間中もよくうどんを食べに行っていたが、今回は実際に自分で打って食べるという体験ができ、非常に印象に残ったようである。

学外実習では、従来どおり「栗林公園」と「四国村」を予定していたが、「四国村」へ行くはずの日に雨天となったため、急遽、屋内で見学のできる「県立ミュージアム」へと行き先を変更した。

茶道では、本学に三つある茶道部（表千家、裏千家、石州流）のうち、今回は石州流の協力を得ることができた。茶道体験をした後で、栗林公園へ見学に行ってお茶席を体験できるよう日程を組んだので、学んだことが実践として身に着いたのではないと思われる。

#### 2-5. その他

今回からの変更点として、週末のホームステイを、3泊4日（金曜夕方～月曜夕方）から2泊3日（金曜夕方～日曜夕方）にしたことが挙げられる。これは、ホストファミリーへのアンケートの際、3泊4日は長いという意見があったことを考慮したものである。本プログラムでは、毎回、ホームステイが好評で、ホストファミリーへの負担を軽減し、今後も継続的に協力が得られるように配慮した。結果として、2泊3日でよさそうだと判断したため、次回以降も2泊3日で実施予定である。

あとは、小さなことではあるが、最終日のプログラムの中に、着物（浴衣）体験を組み込んだことがある。これまで、ボランティア講師の協力により、最終日は研修生は着物を着て体験発表を行い、その後の意見交換・反省会にも出ていた。これを、プログラムの一環として位置づけることにしたものである。

#### 2-6. 第17回プログラムを振り返って

研修生5名という少人数でのプログラム実施となったが、Buddies13名のサポートも得て、全員

が仲良く楽しみながら研修を行えたと思う。今回より導入した「さぬき学」も、今後さらに充実したオリジナリティーある授業にしていきたい。

### 3. 第18回日本語語学研修プログラム

#### 3-1. 研修生

台湾より4名、韓国より4名、計8名の参加があった。内訳は、台湾が4名とも輔仁大学で、韓国が、誠信女子大学（本学交流大学）1名（韓国）、漢陽大学（同）2名、建国大学1名であった。

実は、当初締切までに4名しか応募者がおらず、6名未満の場合は中止もありうるということで周知していたのだが、せっかく応募者があったのだからと、台湾・韓国の大学に追加募集の呼びかけをし、結果計8名となった次第である。漢陽大学からの参加は第16回目にして初めてなのだが、同大からの2名はいずれも追加募集時に応募してくれたものである。

なお、参加学生の専攻別に見ると、8名中6名が日本語専攻で、あとの2名は原子力工学と国際貿易であった。

#### 3-2. 研修期間

平成25年1月21日(月)から2月1日(金)の2週間。

本プログラムの主な参加学生は台湾および韓国の出身者であるため、例年そうであるが、冬季プログラムの実施時期は、旧暦の正月に重ならないよう、配慮している。また、本学学生との交流の場が持てるよう、本学の期末試験時期とも重ねない配慮も必要である。

さらには、本学側の事情として、プログラム期間中に大学入試センター試験が入らないように、ということも配慮して期間を設定している。なお、今回は、プログラム直前の週末がセンター試験となり、従来どおり開講式前日の日曜夕方に研修生が幸町会館にチェックインすることが難しいため、前週金曜日の夕方にチェックイン、という形をとった。

#### 3-3. 研修日程・研修内容

以下の日程で行った。

|           |  |           |  |
|-----------|--|-----------|--|
| 1 / 21(月) | 午前：開講式、ガイダンス<br>午後：授業「総合」(担当：ロン)<br>18：00～：情報交換会                         | 1 / 24(木) | 午前：授業「さぬき学」<br>(担当：高水)<br>午後：体験学習「茶道」(講師：裏千家茶道部、担当：塩井)                             |
| 1 / 22(火) | 午前：授業「総合」、インターナショナルオフィス長表敬訪問<br>(担当：大野呂)<br>午後：体験学習「香川漆器(蒔絵)」<br>(担当：塩井) | 1 / 25(金) | 午前：学外実習「さぬき麺業」<br>(担当：ロン)<br>午後：授業「さぬき学」<br>(担当：正楽)<br>16：00～：ホストファミリーとの対面式、ホームステイ |
| 1 / 23(水) | 午前：授業「日本事情」<br>(担当：ロン)<br>午後：体験学習「書道」<br>(講師：書道部、担当：正楽)                  | 1 / 26(土) | 終日：ホームステイ  |

|           |   |           |   |
|-----------|---|-----------|---|
| 1 / 27(日) | 16:00まで: ホームステイ                                       | 1 / 30(水) | 午前: 授業「作文」(担当: 塩井)<br>午後: 体験学習「茶道」(講師: 石州流茶道部、担当: 塩井)                         |
| 1 / 28(月) | 午前: 授業「総合」(担当: 塩井)<br>午後: 学外実習「四国村」<br>(担当: ロン)       | 1 / 31(木) | 前日: 学外実習「小豆島」<br>(担当: 高水)   |
| 1 / 29(火) | 午前: 授業「作文」(担当: 塩井)<br>午後: 体験学習「華道」<br>(講師: 明石、担当: 高水) | 2 / 1(金)  | 午前: 授業「総合」(担当: 高水)<br>16:30~: 研修体験発表会<br>17:30~: 修了式<br>18:00~19:30: 意見交換・反省会 |

### 3-4. 授業・体験学習・学外実習・企業見学

今回も「さぬき学」を設けた。ただし、内容は讃岐うどんに限定せず、うどんを含む香川事情、ということで少し大きい括りとした。前回に引き続き、うどん打ち体験も組み込んだ。

その他の授業科目については、従来どおりである。

体験学習・学外実習については、第16回・第17回で実施した小豆島日帰りツアーは、これまでの反省も踏まえ、今回からは入れないこととした。

今回新たに取り入れたこととしては、「香川漆器(蒔絵)」体験である。これは、たまたま本学経済学部でプログラム期間中に香川漆器体験講座全3回のうち1回が実施されることが分かり、「さぬき学」との関連でも良い体験になるであろうということで、事前に関係者と打ち合わせ、研修生8名全員を受け入れてもらえることとなったものである。当日は、地元テレビ局も取材に来て、外国人学生ということで何人かインタビューも受ける等、いろいろな意味で印象的な体験となった。

茶道は、今回は裏千家茶道部に協力してもらった。本学には、表千家、裏千家、石州流の三つの宗派の茶道部があり、本当であれば三つそれぞれの部に協力を依頼したいところなのだが、実際のところは、部の活動日や練習場所・道具の置き場所等の都合により、裏千家と石州流にほぼ交替で引き受けてもらっているのが実情である。

### 3-5. その他

特記しておく事項として、今回初めて、プログラム開始の前週の金曜夕方に研修生の学内宿泊施設へのチェックインを行ったことがある。これは、3-2でも触れたように、開講式前日と前々日となる週末が大学入試センター試験と重なり、入構規制が敷かれるため、従来のように日曜夕方にチェックインすることが難しいと判断したためである。これにより、Buddiesにも金曜夕方に来てもらい、顔合わせや交流を行ってもらった。チェックインから開講式まで中2日空くことになったが、結果的に、この間に研修生たちは香川の地に慣れることができ、Buddiesとも十分に交流でき、また、教員側としてもBuddies学生にとっても、週末のチェックインよりは平日のほうが対応がしやすかった等、利点が多いことが分かった。Buddiesにとっては、2週間の研中、週末はホームステイがあるため、これまでは平日の授業後にしか交流の時間がとれなかった。また、時期的にどうしても本学の期末試験時期と近くなることもあり、平日でも交流が思うようにできない学生もいたと聞く。しかし、チェックインを早めることで、こういった点が多少とも改善できたことは良かった。

ホームステイは、前回に引き続き2泊3日で行った。

Buddiesによるサポート・交流活動も、上記のチェックイン時も含めて、順調に行われた。Buddiesは、その都度募集をかけ、登録制で行っているため、毎回、初めてBuddiesメンバーとなる学生ももちろんいるが、大部分の学生は毎回続けて登録・参加してくれているため、だんだんと要領が分かってきて、回を重ねるごとに交流の段取りや実際の活動が充実してきている印象を受ける。

### 3-6. 第18回プログラムを振り返って

研修生の再募集、チェックインの日を早める、香川漆器体験を取り入れる等、第17回目にして初めてのこともいくつかあったが、いずれも結果的に吉と出たように思う。本プログラムは、いくら回を重ねても反省点や改善点は出てくるが、回を重ねてきたからこそその良さ、本学らしさというものをさらに打ち出すべく、今後も改善を図れるところは積極的に改めたり新しいことに挑戦したりしていきたいと思っている。

## 4. 参考データ

以下に、第18回までの実施に関するデータを示す。(第1～18回の研修生は累計205名。)

### 《参考》 過去の実績 (ゴシックは協定大学)

|         | 実施時期             | 期間    | 韓国     |                |      |      |        |                 | 台湾     |      |        | 中国   |      |        |        |
|---------|------------------|-------|--------|----------------|------|------|--------|-----------------|--------|------|--------|------|------|--------|--------|
|         |                  |       | 韓国海洋大学 | 南ソウル大学<br>(※2) | 大邱大学 | 建国大学 | 蔚山科学大学 | ハンバット大学<br>(※3) | 誠信女子大学 | 漢陽大学 | 南台科技大学 | 真理大学 | 輔仁大学 | 河北医科大学 | 北京工業大学 |
| 第1回     | 2005/6/27~7/9    | 2週間   | 2      | 15             |      |      |        |                 |        |      |        |      |      |        |        |
| 第2回     | 2006/2/6~2/18    | 2週間   | 1      |                |      |      |        |                 | 12     |      |        |      |      |        |        |
| 第3回     | 2006/6/26~7/8    | 2週間   |        | 1              | 5    |      |        |                 |        |      |        |      |      |        |        |
| 第4回     | 2006/8/21~8/25   | 1週間   |        |                |      |      |        |                 |        |      |        |      | 22   |        |        |
| 第5回     | 2007/1/22~2/3    | 2週間   |        |                |      |      |        |                 | 19     |      |        |      |      |        |        |
| 第6回(※1) | (2007/6/27~7/28) | (4週間) | /      | /              | /    | /    | /      | /               | /      | /    | /      | /    | /    | /      |        |
| 第7回     | 2008/1/21~2/2    | 2週間   |        |                |      | 3    |        |                 |        | 5    |        |      |      |        |        |
| 第8回     | 2008/6/23~7/18   | 4週間   |        | 9              |      |      |        |                 |        |      |        |      |      |        |        |
| 第9回     | 2009/1/19~1/30   | 2週間   |        |                |      | 3    | 5      |                 |        | 5    | 3      |      |      |        |        |
| 第10回    | 2009/6/29~7/24   | 4週間   |        | 3              | 2    | 3    |        |                 |        | 2    | 3      |      | 1    |        |        |
| 第11回    | 2010/1/25~2/5    | 2週間   |        |                |      | 1    | 5      |                 |        | 3    | 3      |      | 2    |        |        |
| 第12回    | 2010/6/28~7/9    | 2週間   | 3      |                |      | 1    | 1      |                 |        |      | 2      |      |      |        |        |
| 第13回    | 2010/7/27~7/30   | 4日間   |        |                |      |      |        |                 |        |      |        |      | 15   |        |        |
| 第14回    | 2011/1/17~1/28   | 2週間   | 5      |                |      |      |        |                 |        |      | 6      |      |      |        |        |
| 第15回    | 2011/6/27~7/8    | 2週間   | 4      |                |      |      |        |                 |        | 1    | 7      |      |      |        |        |
| 第16回    | 2012/1/30~2/10   | 2週間   | 4      |                |      |      |        | 1               |        | 2    | 2      |      |      |        |        |
| 第17回    | 2012/6/25~7/6    | 2週間   | 2      |                |      |      |        |                 |        | 1    | 2      |      |      |        |        |
| 第18回    | 2013/1/28~2/1    | 2週間   |        |                |      | 1    |        | 1               | 2      |      | 4      |      |      |        |        |
| 大学別計(人) |                  |       | 21     | 28             | 7    | 12   | 5      | 6               | 2      | 2    | 31     | 19   | 32   | 37     | 3      |

※1 プログラムを計画し、学生募集も行ったが、本学における百日咳流行のため中止した。

※2 南ソウル大学は、2006年3月(第2回研修の翌月)に協定締結のため、第1回参加時には協定未締結。

※3 ハンバット大学は、2008年11月に協定を締結し、第11回より本研修に参加。

## ShortStay プログラムにおける日本語授業の報告

インターナショナルオフィス 塩井実香

平成23年度より、JASSOによる助成を受け、短期で海外から学生を受け入れる「Short Stay プログラム (SS プログラム)」と、短期で本学学生が海外研修に行く「Short Visit プログラム (SV プログラム)」が全国的に実施されるようになった。本学でも、複数のプログラムが採択され、担当部局主導で実施されている。

本報告では、インターナショナルオフィスが、平成23年度より授業協力を行っている、農学部における SS プログラムについて記す。

農学部では、「日本の食の安全」留学生特別プログラムという修士課程のコースがあることもあり、平成23年より食品安全実践教育を目指す SS プログラムが、夏季休業中を利用して行われている。このプログラムには、将来的に本学修士課程に入学する学生が出てくることも期待して、日本語・日本文化を学ぶ時間も組み込まれており、インターナショナルオフィスの高水・塩井の2名が日本語授業を担当している。

平成24年度は、8月21日から9月18日までの約1ヶ月間のプログラム中、6回の日本語授業が行われた。中国・タイ・インドネシア・アメリカからの計15名の学生が、文字・挨拶・簡単な会話といった日本語の基礎を学び、1回分の授業時間を使って、実際に学外へ出て学んだ日本語を使う体験（買い物）も行った。全員が日本語初心者であったため、専門外の日本語学習は大変だったのではないかと思われたが、全6回の授業後に行ったインタビューでは肯定的な評価が得られ、帰国後も続けて日本語を学びたいといった声が多く聞かれた。

実際のところ、平成24年度には、前年度この SS プログラムに参加していた学生が数名、本学農学研究科修士課程に出願し、うち4名が合格・入学している。国としても本学としても留学生の受け入れ増を目指す昨今、今後とも、SS プログラム参加学生に、日本や香川、本学での留学生活により興味を持ってもらえ、再度正規生として入学してもらえよう、これまでの授業経験やインタビュー結果をふまえ、より学生の関心やニーズにかなった日本語授業を目指していきたいと考えている。

## 留学生対象各種進学説明会

インターナショナルオフィス 高水 徹

国内においては、平成24年6月から9月にかけて、日本語学校の留学生や教員を対象とした説明会に計9回参加した（末尾の表を参照）。会場は高松、岡山、大阪、福岡である。これらの開催地の中で、福岡は初参加である。これらの説明会には、JASSO 主催のもの、民間の機関主催のもの、日本語学校主催のものが含まれる。近年は特に岡山での広報活動を重点的に行っているが、その理由は、毎年岡山の日本語学校から本学に進学する留学生が多く、地理的条件を考えれば、今後も多くの留学生の入学が見込めるからである。

実際に岡山の会場では、他の開催地と同様の説明を行い、一見類似した質問を受けた場合でも、他の会場よりも詳細な内容であり、より真剣かつ具体的に本学への進学を検討している様子が伝わってきた。岡山ビジネスカレッジの説明会においては、例年本学の部屋を訪れる学生は、参加校の中で最も多いほうである。

昨年度に続き、高松においても説明会が実施された。形態としては、穴吹ビジネスカレッジ（日本語学科）の校内進学相談会（ただし、会場は校内ではない）である。参加した学生は穴吹ビジネスカレッジの学生のみであったが、外部の会場を借り、複数の教育機関が資料参加や会場参加を行っていた点で、他の説明会と同様であった。穴吹ビジネスカレッジは、本学から最も近い日本語学校であり、以前から本学へ多数の留学生が進学している。他の会場とは異なり、地理的なことや交通機関に関する質問などはなく、その分試験制度に質問が集中していた。本学にとって貴重な広報の場となった。

国外においては、今年度も海外における JASSO 主催の日本留学フェアに参加した。平成24年11月24日、25日に、ベトナムのハノイ、ホーチミン会場にて、ブースを設置して広報活動を行った。日本全体へのベトナムからの留学が急増する中での開催であり、本学としては同国のフェアには久しぶりの参加であったが、会場は非常に熱気があった。

質問内容に関しては、学費、本学の地理的位置、希望専門分野が本学に存在するかどうか、要求される日本語レベルなどの国内外で共通の事項に加えて、以下のようなものがあった。

「現在所属しているベトナムの大学（学部）をやめて、日本の大学に入ろうと思う。何が必要か。」

「英語コースはあるか（学部）」

全体として、日本への留学生の人数が台湾を抜いて3位である事実から想像するよりも、基礎知識が不足しているように感じられた。

ベトナムの学生は、そもそもベトナム国内での進学に際しても、自ら進路を決定した経験に乏しい（つまり、親が決定する）そうである。このような状況が、我々からすると「不思議な」質問を投げかけてくる原因になっているようである。

日本語能力に関しては、ベトナムにおいて日本語学校に通っていたとしても、語学力の不足により、高等教育機関への進学前に日本の日本語学校に入る必要があるだろう。実際に、日本語学校の学生が本学ブースに来た場合でも、マレーシアの場合とは大きく異なり、通訳抜きで日本語で話せる学生は皆無に近かった。他方、これもマレーシアとは大きく異なり、英語で話しかけてくる学生は、各会場片手で数えられる程度だった。



一方で、上記のように国全体として日本への留学が増加中であり、当分この傾向は続くと考えられるため、本学への留学生も徐々に増加することが見込まれるだろう。

| 開催日    | 開催地         | 会場                |
|--------|-------------|-------------------|
| 6月2日   | 大阪          | チサンホテル新大阪         |
| 7月13日  | 岡山          | 岡山ビジネスカレッジ        |
| 7月14日  | 大阪          | グランキューブ大阪         |
| 7月19日  | 岡山          | 3丁目劇場2F           |
| 7月20日  | 高松          | 高松センタービル12F       |
| 8月1日   | 大阪          | ECC 国際外語専門学校      |
| 8月30日  | 大阪          | 堺市民会館             |
| 9月7日   | 大阪          | 大阪国際交流センター        |
| 9月11日  | 福岡          | JR 博多シティ          |
| 11月24日 | ベトナム (ハノイ)  | Melia Hanoi Hotel |
| 11月25日 | ベトナム(ホーチミン) | Hotel Equatorial  |

## 課外教育行事

インターナショナルオフィス 高水 徹

### 第1回

平成24年9月26日(水)から27日(木)にかけて、第1回外国人留学生課外教育行事を実施した。

今回の参加学生は38名だった。昨年度同様、日本人学生も参加可能としたが、応募はなかった。また、実際には、40名の学生が参加する予定だったが、当日のキャンセルが発生した。

1日目は、淡路島牧場でバター作りを体験した後、人と防災未来センター、アシックスミュージアムを見学した。防災意識が高まる中、同センターを見学した意義は大きいだろう。

2日目は、例年とは異なり、企業の皆様との意見交換会が組み込まれた。これは、行政側からの働きかけもあって取り入れられた試みである。この中で、日立造船(株)に勤務する本学の先輩留学生と再会することができた。その他の参加企業は(株)あきんどスシロー、不二製油(株)であった。従来の本行事では視野に入れていなかった内容であり、日本での就職は意識していない学生も多かったにもかかわらず、会場は非常に盛り上がった。その後、大阪ヤクルト工場を見学した。この見学においても、製品についての様々な質問が出た。

### 第2回

例年は第2回の行事は日帰りであるが、今年度は、次年度実施される瀬戸内国際芸術祭を視野に入れ、関連する地域において2回の日帰り教育行事を行うこととした。実施日は、平成25年2月25日(月)および26日(火)である。

25日(月)は、丸亀市の丸亀城と本島を訪問した。石垣づくりで有名な丸亀城を見学した後、フェリーで本島へ渡り、ガイドの方から塩飽諸島の歴史や特徴を学び、城下町であった笠島の街並みなどを見学した。また、丸亀市立本島幼稚園・保育園の園児らとの交流行事も実施した。交流行事では、本学の児童文化研究会の日本人学生4名が主導して、園児とのリズム遊びなどを行った。

26日(火)は、坂出市のライオンケミカル株式会社と三豊市の粟島を訪問した。同社の圧倒的シェアを誇るハンドソープの製造工程を中心に見学した後、須田港から粟島に渡った。粟島では粟島海洋記念館にて伝言ゲームの要素を含んだブイアート作りを体験した。作品は、芸術祭の期間まで、郵便局周辺に飾られることとなった。作品作りの待ち時間には城山の登山や、ご好意による島内案内などで島の魅力を味わった。

## 地域住民との交流及び連携

インターナショナルオフィス ロン リム

本学における地域住民との国際交流活動は、KUFSA（香川大学留学生会）とICES（香川大学異文化交流会）を中心的に行った。KUFSAは1997年4月に設立され、2年後の1999年12月にICESは設立された。この二つの学生団体の顧問は共に筆者である。以来、この二つの団体を通して、地域住民の団体と接触して、様々なイベントを企画し、実施してきた。地域住民との交流および連携の目的は、留学生が大学内で学習できない「日本文化」を学ぶチャンスを提供することである。「日本文化」を学習するプラットフォームで、留学生は、学問以外の日本人の考え方や習慣を学ぶことによって、より日本に親しみを持ってもらうという趣旨になる。

平成24年度にも、もっとも長期的かつ安定な4つのイベントについて、報告したいと考えている。その四つのイベントは、夏の日帰り旅行、世界の食文化イベント、紅葉狩り・うどん作り研修会、さぬきお正月会である。

### 〈夏の日帰り旅行〉

1997年以来、KUFSAとICESは毎年、夏の海水浴のイベントを企画してきた。初年、単独で企画し実施したが、翌年の1998年、高松東ライオンズクラブの協力や支援を頂いて、今日まで、この連携の仕組みでやっている。毎年、瀬戸内海に浮かぶ、サンポートからフェリーで結んでいる四つの島（女木島、男木島、直島、小豆島）の一つへ、留学生や日本人学生を引率して、一日、海水浴やビーチゲームを実施する。第16回の2012年の行き先は、女木島だった。

参加者数は134名で、参加者の国籍数は12だった。日本をはじめ、中国やマレーシア、韓国、フランス、ドイツ、タイ、ベトナム、台湾、インドネシア、チュニジア、ロシアの学生たちが参加してくれた。

留学生の人数は73名、日本人学生は35名だった。その他の26名は、大学のスタッフと一般の参加者だった。16回実施して、参加延べ人数は2077名であった。1回の平均参加人数は138名である。

### 〈世界の食文化〉のイベント

綾川町の住民の皆さんとの交流や連携も同様に長くやっている。「世界の食文化」というイベントは1995年当時、綾上町国際交流会の発足の際、記念イベントとして開催された。筆者は、第4回、1998年からコーディネーターとして綾川町の住民の皆さんと活動をしてきている。

2012年8月4日に、第18回のイベントが綾川町山田公民館で行われた。参加した留学生は、中国出身4名、フランス出身3名、ロシア出身1名、ICES部員の日本人学生3名で、合計11名だった。留学生は国の自慢料理を作って、町内からの参加者と一緒に料理を仕上げた。同時に、綾川町民の皆さんは、手打ちうどんや郷土料理のお寿司を作って、留学生たちに教えた。

第18回までの参加延べ人数は141名で、参加者の国籍は、日本を入れて、25カ国・地域である。

#### 〈紅葉狩り・うどん作り研修会〉

このイベントの主催者も綾川町国際交流会である。2007年から開催されて、2012年に第6回となる。会場は、綾川町の山奥にある柏原溪谷に立地しているタツタの森研修館だ。調理室や交流室を完備している研修場である。紅葉狩りをして、綾川町国際交流会の会員と一緒にうどん作りの勉強会を実施した。メニューは「打ち込みうどん」で、たくさんの野菜にドジョウをいれた。しかし、留学生にとってはドジョウの骨は不評だったため、2、3年前からドジョウ抜きのメニューになった。今回の留学生参加者人数は14名だった。今までの延べ人数は78名だ。

#### 〈さぬきお正月会〉

本イベントは、2008年から開始した。高松東ライオンズクラブと仏生山国際交流会の協力や支援を頂いて、実施している取り組みである。大学側は、KUFSA と ICES が担当している。会場は、本学の留学生会館だ。2012年に第5回のお正月会を実施した。参加者はおよそ80名で、臼と杵を使って餅をつき、カレーライスやお雑煮、大福を食べて交流する一日の行事だ。2012年までの参加延べ人数は409名だ。

## 就職支援プログラム

インターナショナルオフィス 高水 徹

### 留学生のための就職支援サービス登録会

日本企業への就職を希望する学生を対象に、キャリア・コンサルタントが企業を紹介し、入社までを無料でサポートする事業が、株式会社クリエアナブキにより開始された。平成24年6月13日に幸町で、同27日に工学部で、就職支援サービス登録会が行われた。登録会では、本事業の説明に加えて就活セミナーも実施され、後日、登録会に出席した留学生を対象に、個別面談が行われた。

### 留学生と青年経営者の集い

平成24年7月17日、香川県中小企業団体中央会青年部との共催により、「留学生と青年経営者の集い」を研究交流棟6階第1講義室において実施した。本会は、留学生の採用を検討している中小企業と県内の就職を検討している留学生が、意見交換により相互理解を図ることを目的に実施したもので、8名の留学生と7名の青年経営者が参加した。ディスカッションでは、「どのような仕事につきたいか」、「日本企業が留学生に求めることは何か」などのテーマについて、意見交換が行われた。

学生生活をどのように送るべきか、就活する際のポイント、企業をどのように選んだらよいか、などのアドバイスや、経営に対する考え方などを経営者から直接聞くことができ、留学生にとって大変有意義な機会となった。

### 外国人留学生対象 企業見学会

平成24年8月6日、香川大学が事務局を務める香川県留学生等国際交流連絡協議会の主催により、「外国人留学生対象 企業見学会」を実施した。本学からの参加者5名を含む、14名の留学生が参加し、株式会社アムロンを訪問した。会社概要や工場概要についての説明の後、工場内部を見学しながら詳しい説明を受けた。見学後は、現場で活躍する外国人社員の講演、採用状況についての講演、質疑応答が行われた。

平成25年1月18日にも、連絡協議会の主催による見学会を実施した。見学先は株式会社藤田商店で、本学からの参加者4名を含む11名の留学生が参加した。事業概要の説明に続き、バスで移動しながら施設を見学した。その後、人事・採用説明を受け、全体を通しての質疑応答が行われた。

今後とも地元である香川県の企業、および香川県留学生等国際交流連絡協議会との連携において、このような見学会を継続する予定である。

### 留学生就職活動準備セミナー

平成24年11月2日、香川県社会福祉総合センター第一中会議室において、留学生就職活動準備セミナーを実施した。構成は第1部：就活体験談、第2部：日本文化基礎講座、第3部：キャリア支援センターの留学生支援の3部構成で、18名の留学生が参加した。留学生にとって、就活の実践的知識とその背景の日本文化を習得でき、さらに先輩の話を聞くことができる有意義なセミナーとなった。

## 外国人留学生向け就職フェア参加のためのバスツアー

平成24年12月22日、グローバルリーダー主催の就職フェアに参加するためのバスツアーを実施し、20名の留学生が参加した。フェアは御堂筋ホール心斎橋で行われ、21社がブースを設けて説明を実施し、留学生たちは熱心に聞き入っていた。

## 留学生就職活動支援セミナー

平成25年1月30日、研究交流棟5階研究者交流スペースで「留学生就職活動支援セミナー」を実施し、15名の学生が参加した。講師には、本学経済学部卒業生で三井物産(株)のOBでもある、荒木洋光氏、射場和行氏をお招きし、海外での就業経験に基づきご講演いただいた。第1部の内容は、海外勤務におけるビジネスのあり方、安全上の留意点、ダイナミックなグローバルビジネスの発展等で、第2部の情報交換会では、参加学生からの様々な質問に答えていただいた。フレンドリーな雰囲気の中で、より具体的にお話を伺うことができた。

また、平成25年2月18日にも、研究交流棟6階第1講義室にて同セミナーを実施した。講師はアビリティセンター株式会社が担当し、14名の留学生が参加した。自己分析や面接に関するレクチャーの後、就活におけるコミュニケーションやマナーの実践的トレーニングを行った。ビデオ映像によるフィードバックと同社社員である先輩留学生の体験談も含まれており、参加者にとって非常に有用であった。

表1 平成24年度留学生就職支援概要

|                          | 開催日        | 参加人数 | 実施場所等               | 備考                                  |
|--------------------------|------------|------|---------------------|-------------------------------------|
| 留学生のための就職支援サービス登録会(幸町)   | 2012/6/13  | 19   | 幸町キャンパス             | (株)クリエアナブキによる                       |
| 留学生のための就職支援サービス登録会(工学部)  | 2012/6/27  | 5    | 工学部キャンパス            | (株)クリエアナブキによる                       |
| 留学生と青年経営者の集い             | 2012/7/17  | 8    | 幸町キャンパス             |                                     |
| 企業見学会                    | 2012/8/6   | 5    | 株式会社アムロン            | 連絡協議会。他機関から9名参加                     |
| 留学生就職活動準備セミナー            | 2012/11/2  | 18   | 香川県社会福祉総合センター第一中会議室 | 大学運営特別経費による                         |
| 外国人留学生向け就職フェア参加のためのバスツアー | 2012/12/22 | 20   | 御堂筋ホール心斎橋           | 大学運営特別経費による                         |
| 企業見学会                    | 2013/1/18  | 4    | 株式会社藤田商店            | 香川県留学生等国際交流連絡協議会運営費による<br>他機関から7名参加 |
| 留学生就職活動支援セミナー            | 2013/1/30  | 15   | 幸町キャンパス             | 大学運営特別経費による                         |
| 留学生就職活動支援セミナー            | 2013/2/18  | 14   | 幸町キャンパス             | 大学運営特別経費による<br>講師はアビリティセンター(株)      |
| 日本事情(留学生対象授業)            | 前期         |      |                     |                                     |

表2 卒業・修了留学生の進路（平成23年度データ）

| 進路先       | 人数 |
|-----------|----|
| 就職(県内)    | 9  |
| 就職(海外)    | 7  |
| 就職(県外)    | 7  |
| 進学        | 5  |
| 就職活動中(日本) | 6  |
| 帰国 他      | 6  |
| 合 計       | 40 |

| 就職先（産業別）              | 人数 |
|-----------------------|----|
| 製造業                   | 8  |
| 学術研究、専門・技術サービス業(研究者等) | 3  |
| 教育・学生支援業（大学講師）        | 2  |
| 医療・福祉（医師・看護師）         | 1  |
| サービス業                 | 6  |
| 卸売・小売業                | 2  |
| 運輸・郵便業                | 1  |
| 合 計                   | 23 |

#### 進 学

香川大学大学院工学研究科、愛媛大学大学院連合農学研究科 他

#### 就 職（県内）

大川自動車(株)、(株)ハマダフードシステム、日本国際交流事業協同組合、四変テック(株)電子機器事業部、JA 香川県本店営農部国際交流センター、香川大学医学部、香川大学工学部 他

#### 就 職（県外）

味の素冷凍食品(株)、イオンリテール(株)、キング醸造(株)、(株)サンアロマ、(株)ニチレイフーズ、日本電気硝子(株) 他

#### 就 職（海外）

上海春秋旅行社、河北省第四病院、パナソニック無錫エネジー社、パナソニック北京研究所、University Malaysia Pahang 他

## 香川大学インターナショナルオフィス規則

### (趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人香川大学組織規則第18条の2の規定に基づき、香川大学インターナショナルオフィス（以下「オフィス」という。）に関し必要な事項を定める。

### (目的)

第2条 オフィスは、香川大学（以下「本学」という。）の国際交流の窓口機関として、情報収集及び発信を一元化すると共に、国際戦略の構築並びに教育研究等の国際的な連携、学内の各組織の有機的な連携、地域の国際交流・協力活動との連携を推進することで、本学並びに地域の国際交流の推進に資することを目的とする。

### (構成)

第3条 オフィスは前条の目的を達成するために、次の各号に掲げる組織を置く。

- (1) 国際研究支援センター
- (2) 留学生センター

2 前項の組織に関し必要な事項は別に定める。

### (業務)

第4条 オフィスはオフィスを構成する組織の相互の連携協力を図ると共に、次に掲げる業務を行う。

- (1) 本学の国際化基本方針に基づき、国際交流に係る企画及び立案に関すること。
- (2) 国際交流協定の締結、その他の外国の機関との交流に関すること。
- (3) 国際交流活動に係る情報を収集・分析し、国際交流の推進に必要となる情報を学内外へ提供し、国際的な情報発信の強化に関すること。
- (4) 国際交流推進事業展開のための外部資金獲得に関すること。
- (5) 地域における国際交流の支援に関すること。
- (6) 国際交流に係る危機管理に関すること。
- (7) その他オフィスの管理・運営並びに本学の国際交流推進に関し必要な業務に関すること。

### (組織)

第5条 オフィスは、次の各号に掲げる者で組織する。

- (1) オフィス長
- (2) 専任教員
- (3) その他必要な職員

2 オフィスに副オフィス長を置くことができる。

3 オフィスに、部局に所属しオフィスの業務を兼任する教員（以下「兼任の教員」という。）を置くことができる。



(オフィス長)

第6条 オフィス長の任命は、本学教職員の中から学長が指名する理事又は副学長（以下「担当理事又は副学長」という。）の推薦に基づき、学長が行う。

- 2 オフィス長は、オフィスの業務を掌理する。
- 3 オフィス長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の末日は、オフィス長を任命する学長の任期の末日以前とする。
- 4 前項の規定にかかわらず、オフィス長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(オフィス長の選考時期)

第7条 オフィス長の選考は、次の各号の一に該当する場合に行う。

- (1) 任期が満了するとき。
- (2) 辞任を申し出たとき。
- (3) 欠員となったとき。
- 2 オフィス長の選考は、前項第1号の場合には任期満了の一月以前に、同項第2号又は第3号の場合には速やかに、行うものとする。

(副オフィス長)

第8条 副オフィス長の任命は、本学教職員の中から担当理事又は副学長の申し出に基づき、学長が行う。

- 2 前項の申し出はオフィス長が副オフィス長候補者を担当理事又は副学長に推薦することにより行う。
- 3 副オフィス長はオフィス長の業務を補佐する。
- 4 副オフィス長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の末日は、副オフィス長を任命する学長の任期の末日以前とする。
- 5 前項の規定にかかわらず、副オフィス長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(専任教員)

第9条 専任教員の選考に関し必要な事項は別に定める。

(兼任の教員)

第10条 兼任の教員は、本学専任教員で国際交流の推進に関し専門的知識及び経験を有する者のうち、担当理事又は副学長の推薦に基づき、学長が委嘱する。

- 2 兼任の教員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の末日は、兼任の教員を指名する学長の任期の末日以前とする。
- 3 前項の規定にかかわらず、兼任の教員が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第11条 オフィスに、オフィスの重要事項を審議するため、香川大学インターナショナルオフィス会議（以下「オフィス会議」という。）を置く。ただし、オフィス会議の議決事項については、担当理事の承諾を経て決定されるものとする。

2 オフィス会議に関し必要な事項は担当理事が別に定める。

(事務)

第12条 オフィスの事務は、部局の協力を得て国際グループにおいて処理する。

(雑則)

第13条 この規則に定めるもののほか、オフィスの業務に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成21年10月1日から施行する。

2 第11条の担当理事は、当分の間、担当副学長と読み替えて適用する。

## 香川大学インターナショナルオフィス会議規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、香川大学インターナショナルオフィス規則（以下「オフィス規則」という。）第11条に規定する香川大学インターナショナルオフィス会議（以下「オフィス会議」という。）に関し必要な事項を定める。

### (組織)

第2条 オフィス会議は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) オフィス長
- (2) オフィス規則第5条第2項に定める副オフィス長
- (3) オフィス規則第3条第1項に定める組織の長
- (4) 専任教員
- (5) オフィス規則第5条第3項に定める兼任の教員
- (6) 教育・学生支援部長
- (7) 学術部長
- (8) 国際グループリーダー
- (9) その他オフィス長が必要と認めた者

2 前項第9号の委員は、学長が任命する。

### (審議事項)

第3条 オフィス会議は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 本学の国際化基本方針に基づく国際戦略の企画・推進に関する事項
- (2) 規則その他の制定又は改廃に関する事項
- (3) 組織の設置又は廃止に関する事項
- (4) 教員の選考に関する事項
- (5) 予算及び施設・設備に関する事項
- (6) 評価に関する事項
- (7) その他オフィス長が必要と認める事項

### (会議の主宰及び議長)

第4条 オフィス会議に議長を置き、オフィス長をもって充てる。ただし、オフィス長に事故あるときは、あらかじめオフィス長の指名した者がその職務を代行する。

2 議長は、オフィス会議を主宰する。

3 オフィス会議は、議長の招集により開催するものとする。

### (会議の議事運営)

第5条 オフィス会議は、構成員の過半数の出席がなければ、議事を開くことができない。

2 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 3 第3条第1項第4号及び第6号の議事については、第2条第1項第9号の委員は可否の数にかかわることができない。
- 4 第2項にかかわらず、特別の必要があるとオフィス会議が認めるときは、第2項に定める要件以外の定めをすることができる。

(構成員以外の者の出席)

第6条 議長は、必要があるときは、オフィス会議の承認を得て、構成員以外の者を会議に出席させることができる。ただし、この者は、可否の数に加わることができない。

(事務)

第7条 オフィス会議の事務は、国際グループにおいて処理する。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、オフィス会議の議事及び運営の方法について必要な事項は、オフィス会議が別に定める。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年10月1日から施行する。

## 香川大学国際研究支援センター規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、香川大学インターナショナルオフィス規則（以下「オフィス規則」という。）第3条第2項の規定に基づき、香川大学国際研究支援センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

### (目的)

第2条 センターは、香川大学（以下「本学」という。）における国際的な研究交流の支援及び本学の国際化基本方針に基づく国際戦略の実施について中心的な役割を果たすことにより、本学における国際的な学術交流の推進に寄与することを目的とする。

### (業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 特色ある国際共同研究及び国際展開プロジェクトの企画・開発及び推進に関すること。
- (2) 海外の研究機関との交流に関すること。
- (3) 海外学術ネットワークの強化に関すること及び海外の学術動向に関する調査に関すること。
- (4) 海外教育研究拠点校との学術交流の支援に関すること。
- (5) 各部局が実施する学術交流の支援に関すること。
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な業務。

### (職員)

第4条 センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) センター長
- (2) センター担当教員
- (3) その他必要な職員

2 センターに、副センター長を置くことができる。

### (センター長)

第5条 センター長の任命は、本学専任教授の中からインターナショナルオフィス長（以下「オフィス長」という。）が学長が指名した理事又は副学長（以下「担当理事又は副学長」という。）に申出を行い、担当理事又は副学長の推薦に基づき、学長が行う。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

3 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の末日は、センター長を任命する学長の任期の末日以前とする。

4 前項の規定にかかわらず、センター長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副センター長)

第6条 副センター長の任命は、オフィス長が担当理事又は副学長に申出を行い、担当理事又は副学長の推薦に基づき、学長が行う。

2 前項の申出は、センター長とオフィス長の協議により行う。

3 副センター長は、センター長を補佐し、センターの業務を整理する。

4 副センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の末日は、副センター長を任命する学長の任期の末日以前とする。

5 前項の規定にかかわらず、副センター長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター担当教員)

第7条 センター担当教員の任命は、センター長の推薦に基づき、担当理事又は副学長の了承を得てオフィス長が行う。

(事務)

第8条 センターに関する事務は、国際グループにおいて処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年10月1日から施行する。

## 香川大学留学生センター規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、香川大学インターナショナルオフィス規則（以下「オフィス規則という」）第3条第2項の規定に基づき、香川大学留学生センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

### (目的)

第2条 センターは、外国人留学生（以下「留学生」という。）及び海外留学を希望する香川大学（以下「本学」という。）の学生に、必要な教育及び指導助言等を行うことにより、本学における国際交流の推進に寄与することを目的とする。

### (業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 留学生の受入に関する事。
- (2) 留学生に対する日本語等の教育に関する事。
- (3) 留学生に対する修学上及び生活上の指導助言等に関する事。
- (4) 留学生に係る奨学に関する事。
- (5) 留学終了者に対するフォローアップに関する事。
- (6) 学生の海外留学に関する事。
- (7) 地域における留学生交流に関する事。
- (8) 留学生教育等に係る調査研究に関する事。
- (9) 留学生会館の管理・運営並びに入退居に関する事。
- (10) その他センターの管理・運営並びに学生の国際交流に関する事。

### (職員)

第4条 センターに、次の各号に掲げる職員を置く。

- (1) センター長
  - (2) センター担当教員
  - (3) その他必要な職員
- 2 センターに、副センター長を置くことができる。

### (センター長)

第5条 センター長の任命は、本学専任教授の中からインターナショナルオフィス長（以下「オフィス長」という。）が学長が指名した理事又は副学長（以下「担当理事又は副学長」という。）に申出を行い、担当理事又は副学長の推薦に基づき、学長が行う。

- 2 センター長は、センターの業務を掌理する。
- 3 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の末日は、センター長を任命する学長の任期の末日以前とする。

4 前項の規定にかかわらず、センター長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副センター長)

第6条 副センター長の任命は、オフィス長が担当理事又は副学長に申出を行い、担当理事又は副学長の推薦に基づき、学長が行う。

2 前項の申出は、センター長とオフィス長の協議により行う。

3 副センター長は、センター長を補佐し、センターの業務を整理する。

4 副センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の末日は、副センター長を任命する学長の任期の末日以前とする。

5 前項の規定にかかわらず、副センター長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター担当教員)

第7条 センター担当教員の任命は、センター長の推薦に基づき、担当理事又は副学長の下承を得てオフィス長が行う。

(事務)

第8条 センターに関する事務は、国際グループにおいて処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年10月1日から施行する



## インターナショナルオフィス教職員一覧

2012.10.1

教員 ※ (兼) は兼任を示す

《インターナショナルオフィス》

(兼) オフィス長 / 板野 俊文

(兼) 副オフィス長 / 客員教授 / 飯田 豊彦

(兼) 副オフィス長 / 教授 / ロン・リム

講師 / 細田 尚美

講師 / 塩井 実香

講師 / 高水 徹

講師 / 正楽 藍

(兼) 准教授 / 高木 由美子 (教育学部)

(兼) 准教授 / 金 宗郁 (法学部)

(兼) 教授 / 高木 文夫 (経済学部)

(兼) 教授 / 徳田 雅明 (医学部)

(兼) 教授 / 澤田 秀之 (工学部)

(兼) 教授 / 加藤 尚 (農学部)

(兼) 教授 / 塚田 修  
(地域マネジメント研究科)

〈国際研究支援センター〉

(兼) 国際研究支援センター長 / 飯田 豊彦

〈留学生センター〉

(兼) 留学生センター長 / ロン・リム

非常勤講師 / 大野 呂節子

非常勤講師 / 早川 理代

非常勤講師 / 和田 方子

事務職員

《国際グループ》

リーダー / 濱田 太

担当 総括

サブリーダー / 尾松 俊嗣

インターナショナルオフィス業務

チーフ / 浅野 文恵

留学生業務

チーフ / 中塚 紗和子

留学生業務

グループ員 / 市村 佳央里

留学生業務

グループ員 / 古島 愛

国際交流業務

グループ員 / 八木 綾衣子

国際交流業務

グループ員 / 野田 順子

国際交流業務

グループ員 / 杉浦 美智子

留学生会館業務

グループ員 / 廣田 俗子

国際交流業務

香川大学インターナショナルオフィス年報 第4号

発行 平成25年11月30日

発行者 香川大学インターナショナルオフィス

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

TEL：087-832-1194

FAX：087-832-1192

印刷所 牟禮印刷株式会社

TEL：087-822-2600（代）

FAX：087-822-0567, 826-1448

